

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ-

日本円・コース (毎月分配型)
豪ドル・コース (毎月分配型)
ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)
米ドル・コース (毎月分配型)
通貨セレクト・コース (毎月分配型)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	日本円・コース (毎月分配型) 豪ドル・コース (毎月分配型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 米ドル・コース (毎月分配型)	約10年間 (2011年9月22日～ 2021年9月7日)
	通貨セレクト・コース (毎月分配型)	約8年3カ月間 (2013年5月 31日～2021年9月7日)
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	日本円・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オー ジェンタム・トラストークロッキーU Sストラテジー・ファンド (日本円・ クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの 受益証券
	豪ドル・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オー ジェンタム・トラストークロッキーU Sストラテジー・ファンド (豪ドル・ クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの 受益証券
	ブラジル・ リアル・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オー ジェンタム・トラストークロッキーU Sストラテジー・ファンド (ブラジ ル・リアル・クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの 受益証券
	米ドル・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オー ジェンタム・トラストークロッキーU Sストラテジー・ファンド (米ドル・ クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの 受益証券
	通貨セレクト・ コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オー ジェンタム・トラストークロッキーU Sストラテジー・ファンド (通貨セレ クト・クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの 受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価 益を含みます。)等とし、原則として、継続的な分配を行 なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額 を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、 分配を行わないことがあります。通貨セレクト・コース は、第1計算期末には、収益の分配は行ないません。	

運用報告書 (全体版)

日本円・コース (毎月分配型)	第96期 (決算日 2019年10月7日)
豪ドル・コース (毎月分配型)	第97期 (決算日 2019年11月7日)
ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	第98期 (決算日 2019年12月9日)
米ドル・コース (毎月分配型)	第99期 (決算日 2020年1月7日)
	第100期 (決算日 2020年2月7日)
	第101期 (決算日 2020年3月9日)
通貨セレクト・コース (毎月分配型)	第76期 (決算日 2019年10月7日)
	第77期 (決算日 2019年11月7日)
	第78期 (決算日 2019年12月9日)
	第79期 (決算日 2020年1月7日)
	第80期 (決算日 2020年2月7日)
	第81期 (決算日 2020年3月9日)

(作成対象期間 2019年9月10日～2020年3月9日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3834>
<3835>
<3836>
<3837>
<5763>

日本円・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落) 円	税込み 分配金 円	期中 騰落率 %	(参考指数) 円	期中 騰落率 %			
72期末 (2017年10月10日)	7,613	90	3.0	21,810	3.2	—	98.8	845
73期末 (2017年11月7日)	7,406	90	△ 1.5	22,208	1.8	—	94.6	837
74期末 (2017年12月7日)	7,282	90	△ 0.5	22,535	1.5	0.0	98.6	810
75期末 (2018年1月9日)	7,568	90	5.2	23,550	4.5	—	98.6	846
76期末 (2018年2月7日)	7,224	60	△ 3.8	23,099	△ 1.9	—	98.5	796
77期末 (2018年3月7日)	7,309	60	2.0	23,382	1.2	—	98.3	784
78期末 (2018年4月9日)	6,921	60	△ 4.5	22,322	△ 4.5	—	98.4	714
79期末 (2018年5月7日)	6,823	60	△ 0.5	22,827	2.3	—	98.5	693
80期末 (2018年6月7日)	7,042	60	4.1	23,761	4.1	—	98.5	708
81期末 (2018年7月9日)	6,894	60	△ 1.2	23,654	△ 0.5	0.0	98.8	652
82期末 (2018年8月7日)	7,021	60	2.7	24,430	3.3	0.0	99.0	649
83期末 (2018年9月7日)	6,947	60	△ 0.2	24,667	1.0	—	99.0	623
84期末 (2018年10月9日)	6,879	60	△ 0.1	24,722	0.2	—	98.7	610
85期末 (2018年11月7日)	6,511	60	△ 4.5	23,616	△ 4.5	—	98.5	574
86期末 (2018年12月7日)	6,381	60	△ 1.1	23,106	△ 2.2	—	98.8	559
87期末 (2019年1月7日)	5,979	35	△ 5.8	21,701	△ 6.1	—	98.7	515
88期末 (2019年2月7日)	6,371	35	7.1	23,412	7.9	—	98.6	546
89期末 (2019年3月7日)	6,327	35	△ 0.1	23,753	1.5	0.0	99.2	531
90期末 (2019年4月8日)	6,521	35	3.6	24,793	4.4	—	98.4	536
91期末 (2019年5月7日)	6,396	35	△ 1.4	25,133	1.4	—	99.1	517
92期末 (2019年6月7日)	5,937	35	△ 6.6	24,371	△ 3.0	—	98.5	465
93期末 (2019年7月8日)	6,186	35	4.8	25,630	5.2	—	98.5	479
94期末 (2019年8月7日)	5,947	35	△ 3.3	24,699	△ 3.6	—	98.3	458
95期末 (2019年9月9日)	6,094	35	3.1	25,530	3.4	—	98.5	468
96期末 (2019年10月7日)	5,970	35	△ 1.5	25,301	△ 0.9	—	98.3	445
97期末 (2019年11月7日)	6,383	35	7.5	26,370	4.2	—	98.1	459
98期末 (2019年12月9日)	6,414	35	1.0	26,963	2.2	—	98.3	445
99期末 (2020年1月7日)	6,483	35	1.6	27,823	3.2	—	98.3	454
100期末 (2020年2月7日)	6,398	35	△ 0.8	28,676	3.1	—	98.3	422
101期末 (2020年3月9日)	5,588	35	△ 12.1	25,475	△ 11.2	—	97.9	358

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (米ドルベース) は、S & P 500指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

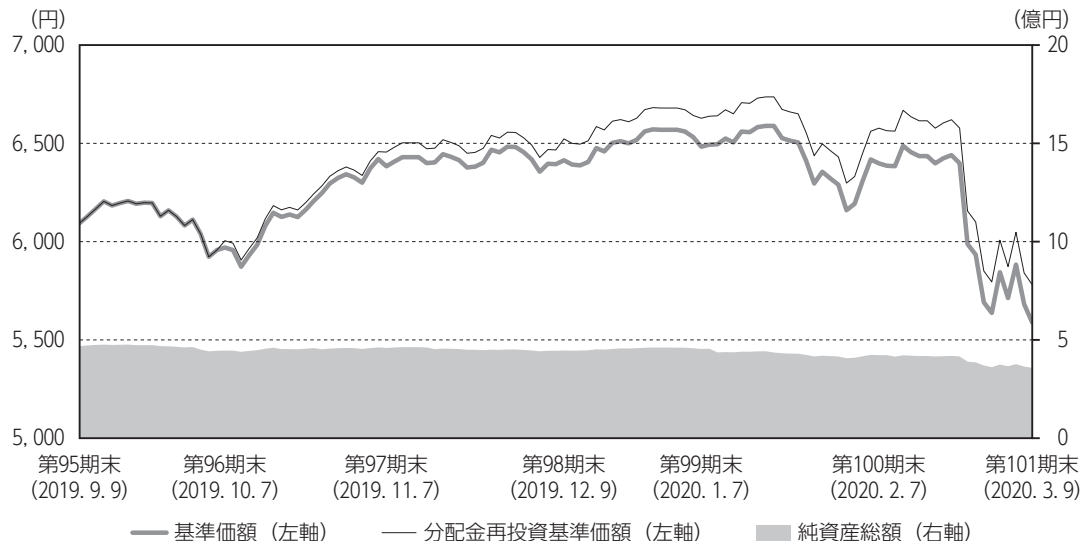
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第96期首：6,094円

第101期末：5,588円 (既払分配金210円)

騰落率：△5.1% (分配金再投資ベース)

基準価額の主な変動要因

クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) が下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、為替ヘッジを行った結果、「クロッキーモデル」によって選定された銘柄で構築する株式ポートフォリオが下落したこと、オプション取引戦略や為替ヘッジコストがマイナス要因となり、下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)：オージェンタム・トラスト
 ロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第96期	(期首) 2019年 9月 9日	6,094	—	25,530	—	—	98.5
	9月末	6,082	△ 0.2	25,385	△ 0.6	—	98.1
	(期末) 2019年10月 7日	6,005	△ 1.5	25,301	△ 0.9	—	98.3
第97期	(期首) 2019年10月 7日	5,970	—	25,301	—	—	98.3
	10月末	6,327	6.0	26,113	3.2	—	98.2
	(期末) 2019年11月 7日	6,418	7.5	26,370	4.2	—	98.1
第98期	(期首) 2019年11月 7日	6,383	—	26,370	—	—	98.1
	11月末	6,482	1.6	27,029	2.5	—	99.0
	(期末) 2019年12月 9日	6,449	1.0	26,963	2.2	—	98.3
第99期	(期首) 2019年12月 9日	6,414	—	26,963	—	—	98.3
	12月末	6,560	2.3	27,769	3.0	—	97.6
	(期末) 2020年 1月 7日	6,518	1.6	27,823	3.2	—	98.3
第100期	(期首) 2020年 1月 7日	6,483	—	27,823	—	—	98.3
	1月末	6,290	△ 3.0	28,143	1.2	—	99.6
	(期末) 2020年 2月 7日	6,433	△ 0.8	28,676	3.1	—	98.3
第101期	(期首) 2020年 2月 7日	6,398	—	28,676	—	—	98.3
	2月末	5,691	△ 11.1	25,530	△ 11.0	—	98.1
	(期末) 2020年 3月 9日	5,623	△ 12.1	25,475	△ 11.2	—	97.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2019. 9. 10 ～ 2020. 3. 9）

■ 米国株式市況

米国株式市場は小幅に上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、世界的な金融緩和期待などを受けて上昇基調で始まりまし
た。また2019年11月からは、米中通商協議の進展期待の高まりなども、上昇要因となりました。し
かし2020年2月下旬以降は、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大などを嫌気して、市況
は急落しました。

■ 短期金利市況

日本の短期金利は、日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持し、短期金利は低位
で推移しました。一方、米国の短期金利は、F R B（米国連邦準備制度理事会）がF O M C（米
国連邦公開市場委員会）で政策金利の誘導目標レンジを2. 00～2. 25%から1. 00～1. 25%に引き下げま
した。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

引き続き、クロッキーU Sストラテジー・ファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネー・マ
ザーファンドに投資します。また、クロッキーU Sストラテジー・ファンド（日本円・クラス）へ
の投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ クロッキーU Sストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準（G I C S）
の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会
計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率
はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却す
ることでカバードコール戦略を構築します。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いま
す。

■ ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2019. 9. 10 ～ 2020. 3. 9）

■当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

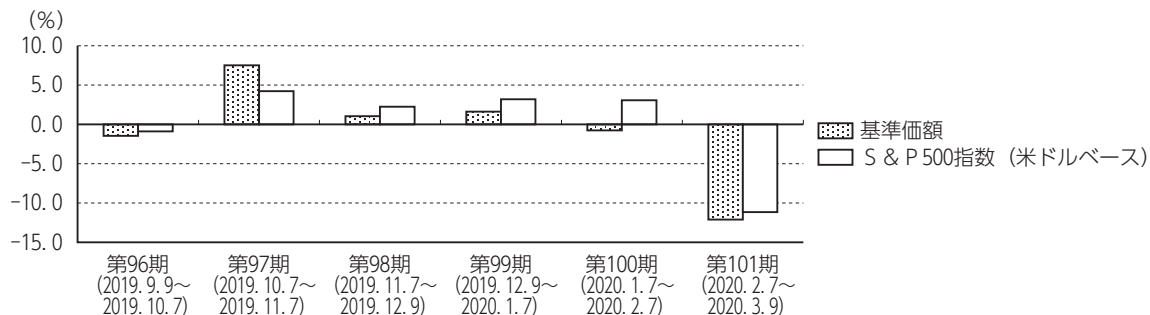
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
	2019年9月10日 ～2019年10月7日	2019年10月8日 ～2019年11月7日	2019年11月8日 ～2019年12月9日	2019年12月10日 ～2020年1月7日	2020年1月8日 ～2020年2月7日	2020年2月8日 ～2020年3月9日
当期分配金(税込み) (円)	35	35	35	35	35	35
対基準価額比率 (%)	0.58	0.55	0.54	0.54	0.54	0.62
当期の収益 (円)	30	35	35	35	35	35
当期の収益以外 (円)	4	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	212	218	219	223	225	226

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 30.39円	✓ 40.82円	✓ 36.92円	✓ 38.17円	✓ 37.34円	✓ 35.51円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 214.12	212.18	212.19	212.34	212.36	212.42
(d) 分配準備積立金	✓ 2.65	0.00	5.81	7.62	10.77	13.09
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	247.17	253.01	254.93	258.14	260.49	261.03
(f) 分配金	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	212.17	218.01	219.93	223.14	225.49	226.03

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第96期～第101期 (2019. 9. 10～2020. 3. 9)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	42円	0. 667%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は6, 298円です。
(投 信 会 社)	(14)	(0. 218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(27)	(0. 436)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	42	0. 671	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

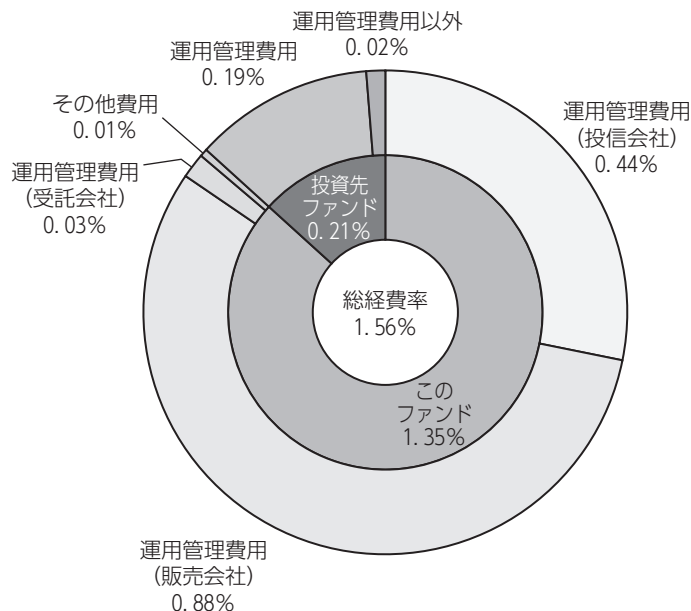
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.56%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.56%
①このファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.19%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2019年9月10日から2020年3月9日まで)

決算期	第 96 期 ~ 第 101 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 216.83411	千円 17,408	千口 1,240.92546	千円 98,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2019年9月10日から2020年3月9日まで)

第 96 期 ~				第 101 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS (ケイマン諸島)	1,240.92546	98,000	78

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 101 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS	千口 4,964.76586	千円 350,428	% 97.9

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第95期末	第 101 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 132	千口 132	千円 135

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年3月9日現在

項 目	第 101 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 350,428	% 97.1
ダイワ・マネー・マザーファンド	135	0.0
コール・ローン等、その他	10,210	2.9
投資信託財産総額	360,773	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年10月7日)、(2019年11月7日)、(2019年12月9日)、(2020年1月7日)、(2020年2月7日)、(2020年3月9日)現在

項目	第96期末	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末	第101期末
(A) 資産	448,552,265円	463,071,839円	448,971,369円	457,702,892円	425,435,578円	360,773,567円
コール・ローン等	10,385,211	12,605,125	10,432,383	11,402,717	9,910,072	10,210,446
投資信託受益証券 (評価額)	438,031,974	450,331,648	438,403,920	446,165,109	415,390,453	350,428,068
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	135,080	135,066	135,066	135,066	135,053	135,053
(B) 負債	3,088,541	4,018,154	2,976,362	3,634,898	2,881,846	2,718,048
未払収益分配金	2,611,458	2,517,172	2,433,829	2,451,410	2,311,394	2,242,755
未払解約金	—	978,210	—	684,027	63,804	—
未払信託報酬	474,154	516,696	533,200	487,168	491,364	457,221
その他未払費用	2,929	6,076	9,333	12,293	15,284	18,072
(C) 純資産総額 (A - B)	445,463,724	459,053,685	445,995,007	454,067,994	422,553,732	358,055,519
元本	746,130,977	719,192,151	695,379,720	700,402,954	660,398,465	640,787,150
次期繰越損益金	△ 300,667,253	△ 260,138,466	△ 249,384,713	△ 246,334,960	△ 237,844,733	△ 282,731,631
(D) 受益権総口数	746,130,977口	719,192,151口	695,379,720口	700,402,954口	660,398,465口	640,787,150口
1万口当り基準価額 (C/D)	5,970円	6,383円	6,414円	6,483円	6,398円	5,588円

*第95期末における元本額は768,452,407円、当作成期間 (第96期～第101期) 中における追加設定元本額は18,620,186円、同解約元本額は146,285,443円です。

*第101期末の計算口数当りの純資産額は5,588円です。

*第101期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は282,731,631円です。

■損益の状況

第96期 自 2019年9月10日 至 2019年10月7日 第98期 自 2019年11月8日 至 2019年12月9日 第100期 自 2020年1月8日 至 2020年2月7日
 第97期 自 2019年10月8日 至 2019年11月7日 第99期 自 2019年12月10日 至 2020年1月7日 第101期 自 2020年2月8日 至 2020年3月9日

項目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(A) 配当等収益	2,745,217円	2,983,751円	2,868,640円	2,855,241円	2,960,538円	2,735,872円
受取配当金	2,745,499	2,983,908	2,868,956	2,855,707	2,960,797	2,735,968
受取利息	10	—	3	—	1	—
支払利息	△ 292	△ 157	△ 319	△ 466	△ 260	△ 96
(B) 有価証券売買損益	△ 8,900,163	29,721,591	2,241,590	4,864,975	△ 5,733,857	△ 51,960,315
売買益	60,949	30,243,430	2,260,992	4,900,179	36,488	710,612
売買損	△ 8,961,112	△ 521,839	△ 19,402	△ 35,204	△ 5,770,345	△ 52,670,927
(C) 信託報酬等	△ 477,083	△ 519,844	△ 536,457	△ 490,133	△ 494,355	△ 460,009
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 6,632,029	32,185,498	4,573,773	7,230,083	△ 3,267,674	△ 49,684,452
(E) 前期繰越損益金	△ 126,743,852	△ 130,487,152	△ 97,316,566	△ 94,413,956	△ 84,349,931	△ 87,068,056
(F) 追加信託差損益金	△ 164,679,914	△ 159,319,640	△ 154,208,091	△ 156,699,677	△ 147,915,734	△ 143,736,368
(配当等相当額)	(15,976,252)	(15,259,940)	(14,755,687)	(14,872,448)	(14,024,720)	(13,611,780)
(売買損益相当額)	(△ 180,656,166)	(△ 174,579,580)	(△ 168,963,778)	(△ 171,572,125)	(△ 161,940,454)	(△ 157,348,148)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 298,055,795	△ 257,621,294	△ 246,950,884	△ 243,883,550	△ 235,533,339	△ 280,488,876
(H) 収益分配金	2,611,458	2,517,172	2,433,829	2,451,410	2,311,394	2,242,755
次期繰越損益金 (G + H)	△ 300,667,253	△ 260,138,466	△ 249,384,713	△ 246,334,960	△ 237,844,733	△ 282,731,631
追加信託差損益金	△ 164,825,244	△ 159,319,640	△ 154,208,091	△ 156,699,677	△ 147,915,734	△ 143,736,368
(配当等相当額)	(15,830,922)	(15,259,940)	(14,755,687)	(14,872,448)	(14,024,720)	(13,611,780)
(売買損益相当額)	(△ 180,656,166)	(△ 174,579,580)	(△ 168,963,778)	(△ 171,572,125)	(△ 161,940,454)	(△ 157,348,148)
分配準備積立金	—	419,169	538,250	756,514	866,696	872,232
繰越損益金	△ 135,842,009	△ 101,237,995	△ 95,714,872	△ 90,391,797	△ 90,795,695	△ 139,867,495

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(a) 経費控除後の配当等収益	2,268,133円	2,936,341円	2,567,471円	2,673,986円	2,466,183円	2,275,863円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	15,976,252	15,259,940	14,755,687	14,872,448	14,024,720	13,611,780
(d) 分配準備積立金	197,995	0	404,608	533,938	711,907	839,124
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	18,442,380	18,196,281	17,727,766	18,080,372	17,202,810	16,726,767
(f) 分配金	2,611,458	2,517,172	2,433,829	2,451,410	2,311,394	2,242,755
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	15,830,922	15,679,109	15,293,937	15,628,962	14,891,416	14,484,012
(h) 受益権総口数	746,130,977口	719,192,151口	695,379,720口	700,402,954口	660,398,465口	640,787,150口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
		35円	35円	35円	35円	35円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

〈お知らせ〉

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

豪ドル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (米ドルベース)		豪ドル為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
72期末(2017年10月10日)	5,941	100	3.8	21,810	3.2	87.61	0.1	—	98.6	4,420
73期末(2017年11月7日)	5,749	100	△ 1.5	22,208	1.8	87.49	△ 0.1	—	98.2	4,089
74期末(2017年12月7日)	5,478	100	△ 3.0	22,535	1.5	84.91	△ 2.9	0.0	98.5	3,856
75期末(2018年1月9日)	5,940	100	10.3	23,550	4.5	88.86	4.7	—	98.9	4,113
76期末(2018年2月7日)	5,463	70	△ 6.9	23,099	△ 1.9	86.42	△ 2.7	—	98.3	3,677
77期末(2018年3月7日)	5,319	70	△ 1.4	23,382	1.2	82.15	△ 4.9	—	98.5	3,511
78期末(2018年4月9日)	4,968	70	△ 5.3	22,322	△ 4.5	82.13	△ 0.0	—	98.6	3,204
79期末(2018年5月7日)	4,895	70	△ 0.1	22,827	2.3	82.02	△ 0.1	—	99.4	3,112
80期末(2018年6月7日)	5,150	70	6.6	23,761	4.1	84.47	3.0	—	98.8	3,240
81期末(2018年7月9日)	4,883	70	△ 3.8	23,654	△ 0.5	82.27	△ 2.6	0.0	99.6	2,982
82期末(2018年8月7日)	4,972	70	3.3	24,430	3.3	82.23	△ 0.0	0.0	98.8	2,994
83期末(2018年9月7日)	4,770	45	△ 3.2	24,667	1.0	79.41	△ 3.4	—	98.7	2,763
84期末(2018年10月9日)	4,768	45	0.9	24,722	0.2	79.96	0.7	—	98.7	2,671
85期末(2018年11月7日)	4,593	45	△ 2.7	23,616	△ 4.5	82.02	2.6	—	98.8	2,514
86期末(2018年12月7日)	4,452	45	△ 2.1	23,106	△ 2.2	81.50	△ 0.6	—	98.6	2,380
87期末(2019年1月7日)	3,934	45	△ 10.6	21,701	△ 6.1	77.24	△ 5.2	—	98.4	2,033
88期末(2019年2月7日)	4,249	45	9.2	23,412	7.9	78.09	1.1	—	98.6	2,148
89期末(2019年3月7日)	4,217	45	0.3	23,753	1.5	78.50	0.5	0.0	98.7	2,086
90期末(2019年4月8日)	4,372	45	4.7	24,793	4.4	79.07	0.7	—	98.7	2,115
91期末(2019年5月7日)	4,252	30	△ 2.1	25,133	1.4	77.38	△ 2.1	—	98.8	2,011
92期末(2019年6月7日)	3,786	30	△ 10.3	24,371	△ 3.0	75.67	△ 2.2	—	99.0	1,739
93期末(2019年7月8日)	3,946	30	5.0	25,630	5.2	75.75	0.1	—	99.3	1,700
94期末(2019年8月7日)	3,604	30	△ 7.9	24,699	△ 3.6	71.89	△ 5.1	—	98.5	1,516
95期末(2019年9月9日)	3,749	30	4.9	25,530	3.4	73.15	1.8	—	98.8	1,540
96期末(2019年10月7日)	3,623	30	△ 2.6	25,301	△ 0.9	72.16	△ 1.4	—	98.5	1,461
97期末(2019年11月7日)	4,016	30	11.7	26,370	4.2	74.90	3.8	—	98.6	1,592
98期末(2019年12月9日)	3,985	30	△ 0.0	26,963	2.2	74.21	△ 0.9	—	98.0	1,541
99期末(2020年1月7日)	4,070	30	2.9	27,823	3.2	75.16	1.3	—	98.3	1,552
100期末(2020年2月7日)	3,947	30	△ 2.3	28,676	3.1	73.82	△ 1.8	—	99.0	1,478
101期末(2020年3月9日)	3,230	30	△ 17.4	25,475	△ 11.2	67.44	△ 8.6	—	98.2	1,193

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (米ドルベース) は、S & P 500指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

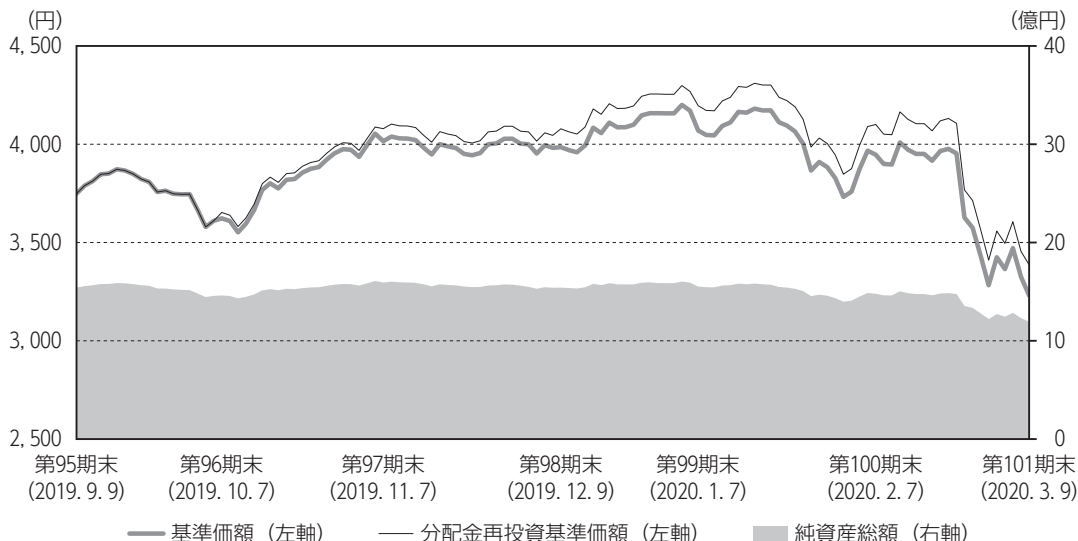
(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第96期首：3,749円

第101期末：3,230円 (既払分配金180円)

騰落率：△9.7% (分配金再投資ベース)

基準価額の主な変動要因

クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス) の下落がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス) については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用した結果、「クロッキーモデル」によって選定された銘柄で構築する株式ポートフォリオが下落したこと、オプション取引戦略や豪ドルが対円で下落したことがマイナス要因となり、下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)：オージェンタム・トラスト
クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第96期	(期首) 2019年9月9日	3,749	—	25,530	—	73.15	—	—	98.8
	9月末	3,745	△ 0.1	25,385	△ 0.6	72.88	△ 0.4	—	98.2
	(期末) 2019年10月7日	3,653	△ 2.6	25,301	△ 0.9	72.16	△ 1.4	—	98.5
第97期	(期首) 2019年10月7日	3,623	—	25,301	—	72.16	—	—	98.5
	10月末	3,972	9.6	26,113	3.2	75.28	4.3	—	99.0
	(期末) 2019年11月7日	4,046	11.7	26,370	4.2	74.90	3.8	—	98.6
第98期	(期首) 2019年11月7日	4,016	—	26,370	—	74.90	—	—	98.6
	11月末	4,028	0.3	27,029	2.5	74.14	△ 1.0	—	99.0
	(期末) 2019年12月9日	4,015	△ 0.0	26,963	2.2	74.21	△ 0.9	—	98.0
第99期	(期首) 2019年12月9日	3,985	—	26,963	—	74.21	—	—	98.0
	12月末	4,200	5.4	27,769	3.0	76.52	3.1	—	97.6
	(期末) 2020年1月7日	4,100	2.9	27,823	3.2	75.16	1.3	—	98.3
第100期	(期首) 2020年1月7日	4,070	—	27,823	—	75.16	—	—	98.3
	1月末	3,827	△ 6.0	28,143	1.2	73.29	△ 2.5	—	98.1
	(期末) 2020年2月7日	3,977	△ 2.3	28,676	3.1	73.82	△ 1.8	—	99.0
第101期	(期首) 2020年2月7日	3,947	—	28,676	—	73.82	—	—	99.0
	2月末	3,431	△ 13.1	25,530	△ 11.0	71.94	△ 2.5	—	98.3
	(期末) 2020年3月9日	3,260	△ 17.4	25,475	△ 11.2	67.44	△ 8.6	—	98.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2019. 9. 10 ～ 2020. 3. 9）

■米国株式市況

米国株式市場は小幅に上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、世界的な金融緩和期待などを受けて上昇基調で始まりまし
た。また2019年11月からは、米中通商協議の進展期待の高まりなども、上昇要因となりました。し
かし2020年2月下旬以降は、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大などを嫌気して、市況
は急落しました。

■為替相場

豪ドルは対円で下落（円高）しました。

豪ドルの対円為替相場は、当作成期首から2019年末にかけては、オーストラリアでの利下げ観測
などから下落する局面もみられたものの、オーストラリアの失業率の低下などを受けて、豪ドル円
は上昇しました。その後は、新型コロナウイルスの感染が拡大する中で市場のリスク回避姿勢が強
まり、豪ドル円は下落しました。

■短期金利市況

オーストラリアの短期金利は、R B A（オーストラリア準備銀行）が政策金利を1.00%から
0.50%に引き下げました。一方、米国の短期金利は、F R B（米国連邦準備制度理事会）がF O M C
（米国連邦公開市場委員会）で政策金利の誘導目標レンジを2.00～2.25%から1.00～1.25%に引き
下げました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネー・マ
ザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）へ
の投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準（G I C S）
の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会
計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率

はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019. 9. 10 ~ 2020. 3. 9)

■当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス) への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行いました。

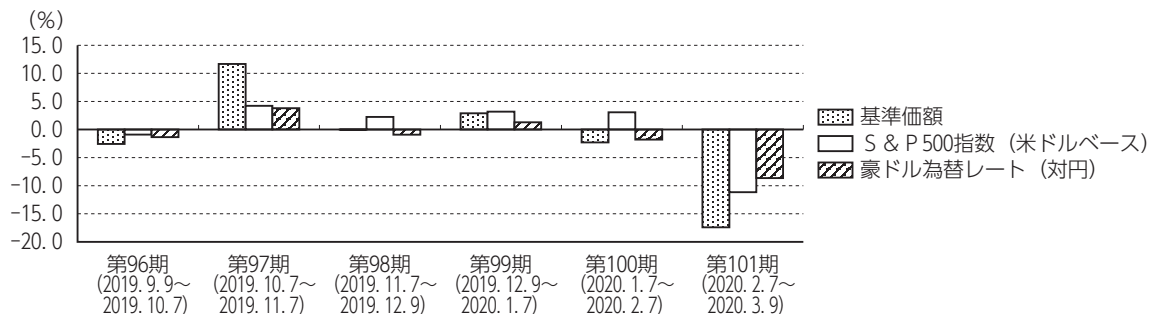
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
	2019年9月10日 ～2019年10月7日	2019年10月8日 ～2019年11月7日	2019年11月8日 ～2019年12月9日	2019年12月10日 ～2020年1月7日	2020年1月8日 ～2020年2月7日	2020年2月8日 ～2020年3月9日
当期分配金(税込み) (円)	30	30	30	30	30	30
対基準価額比率 (%)	0.82	0.74	0.75	0.73	0.75	0.92
当期の収益 (円)	22	28	23	28	27	26
当期の収益以外 (円)	7	1	6	1	3	3
翌期繰越分配対象額 (円)	251	249	243	241	238	235

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 22.25円	✓ 28.46円	✓ 23.55円	✓ 28.11円	✓ 26.99円	✓ 26.47円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 259.23	✓ 251.49	✓ 249.97	✓ 243.53	✓ 241.65	✓ 238.67
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	281.49	279.96	273.52	271.64	268.65	265.15
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	251.49	249.96	243.52	241.64	238.65	235.15

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第96期～第101期 (2019. 9. 10～2020. 3. 9)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	26円	0.666%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は3,900円です。
(投 信 会 社)	(8)	(0.217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(17)	(0.436)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(0)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	26	0.669	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

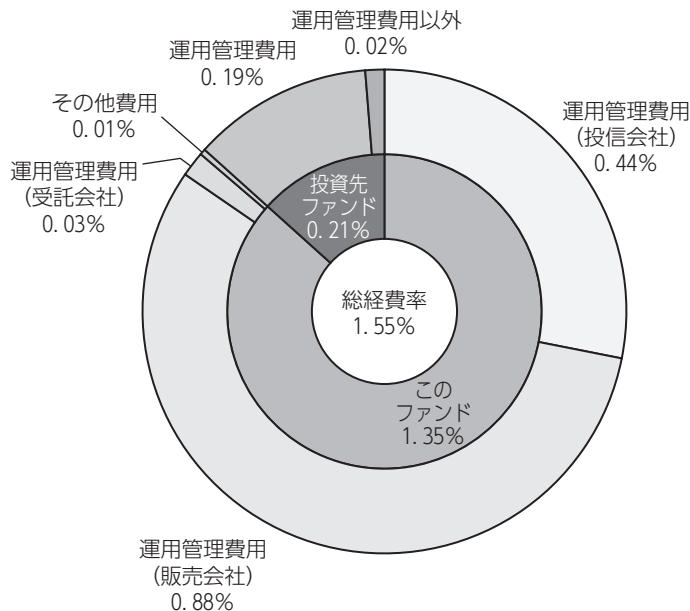
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.55%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.55%
①このファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.19%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2019年9月10日から2020年3月9日まで)

決算期	第 96 期 ~ 第 101 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	898.17996	67,964	3,293.8872	243,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2019年9月10日から2020年3月9日まで)

第 96 期 ~				第 101 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS (ケイマン諸島)	3,293.8872	243,000	73

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 101 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS	18,920.34109	1,171,907	98.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第95期末	第 101 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	643	643	654

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年3月9日現在

項 目	第 101 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,171,907	97.0
ダイワ・マネー・マザーファンド	654	0.1
コール・ローン等、その他	35,560	2.9
投資信託財産総額	1,208,122	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年10月7日)、(2019年11月7日)、(2019年12月9日)、(2020年1月7日)、(2020年2月7日)、(2020年3月9日)現在

項目	第96期末	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末	第101期末
(A) 資産	1,476,773,457円	1,607,315,858円	1,554,816,025円	1,566,383,706円	1,491,461,160円	1,208,122,128円
コール・ローン等	36,332,511	36,422,931	43,928,587	39,365,058	27,571,481	35,560,864
投資信託受益証券 (評価額)	1,439,786,560	1,570,238,605	1,510,233,116	1,526,364,326	1,463,235,421	1,171,907,006
ダイワ・マネー・マザー ファンド (評価額)	654,386	654,322	654,322	654,322	654,258	654,258
(B) 負債	15,537,547	14,521,780	13,769,948	14,069,293	13,023,721	14,675,399
未払収益分配金	12,099,465	11,897,546	11,600,848	11,441,637	11,236,684	11,083,977
未払解約金	1,863,946	862,088	293,934	897,992	—	1,934,006
未払信託報酬	1,564,435	1,741,800	1,843,528	1,687,725	1,734,493	1,595,122
その他未払費用	9,701	20,346	31,638	41,939	52,544	62,294
(C) 純資産総額 (A - B)	1,461,235,910	1,592,794,078	1,541,046,077	1,552,314,413	1,478,437,439	1,193,446,729
元本	4,033,155,331	3,965,848,831	3,866,949,558	3,813,879,223	3,745,561,542	3,694,659,326
次期繰越損益金	△ 2,571,919,421	△ 2,373,054,753	△ 2,325,903,481	△ 2,261,564,810	△ 2,267,124,103	△ 2,501,212,597
(D) 受益権総口数	4,033,155,331口	3,965,848,831口	3,866,949,558口	3,813,879,223口	3,745,561,542口	3,694,659,326口
1万円当り基準価額 (C/D)	3,623円	4,016円	3,985円	4,070円	3,947円	3,230円

*第95期末における元本額は4,109,555,831円、当作成期間 (第96期～第101期) 中における追加設定元本額は39,071,778円、同解約元本額は453,968,283円です。

*第101期末の計算口数当りの純資産額は3,230円です。

*第101期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,501,212,597円です。

■損益の状況

第96期 自 2019年9月10日 至 2019年10月7日 第97期 自 2019年11月7日 至 2019年12月9日 第98期 自 2019年12月10日 至 2020年1月7日 第99期 自 2020年1月8日 至 2020年2月7日 第100期 自 2020年2月8日 至 2020年3月9日

項目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(A) 配当等収益	10,551,451円	11,408,498円	10,962,022円	11,137,659円	11,857,504円	11,388,113円
受取配当金	10,552,241	11,408,857	10,963,114	11,138,442	11,857,986	11,388,437
受取利息	37	—	6	1	3	—
支払利息	△ 827	△ 359	△ 1,098	△ 784	△ 485	△ 324
(B) 有価証券売買損益	△ 47,679,559	158,152,763	△ 9,531,230	34,395,954	△ 44,946,580	△ 263,474,080
売買益	175,857	159,066,415	542,953	34,940,081	348,219	2,346,522
売買損	△ 47,855,416	△ 913,652	△ 10,074,183	△ 544,127	△ 45,294,799	△ 265,820,602
(C) 信託報酬等	△ 1,574,136	△ 1,752,450	△ 1,854,820	△ 1,698,043	△ 1,745,098	△ 1,604,872
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 38,702,244	167,808,811	△ 424,028	43,835,570	△ 34,834,174	△ 253,690,839
(E) 前期繰越損益金	△ 1,528,149,426	△ 1,546,965,414	△ 1,353,573,480	△ 1,342,224,440	△ 1,283,612,655	△ 1,307,692,719
(F) 追加信託差損益金	△ 992,968,286	△ 982,000,604	△ 960,305,125	△ 951,734,303	△ 937,440,590	△ 928,745,062
(配当等相当額)	(104,552,351)	(99,739,974)	(96,663,408)	(92,880,627)	(90,513,076)	(88,181,346)
(売買損益相当額)	(△ 1,097,520,637)	(△ 1,081,740,578)	(△ 1,056,968,533)	(△ 1,044,614,930)	(△ 1,027,953,666)	(△ 1,016,926,408)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 2,559,819,956	△ 2,361,157,207	△ 2,314,302,633	△ 2,250,123,173	△ 2,255,887,419	△ 2,490,128,620
(H) 収益分配金	12,099,465	11,897,546	11,600,848	11,441,637	11,236,684	11,083,977
次期繰越損益金 (G + H)	△ 2,571,919,421	△ 2,373,054,753	△ 2,325,903,481	△ 2,261,564,810	△ 2,267,124,103	△ 2,501,212,597
追加信託差損益金	△ 996,090,459	△ 982,607,602	△ 962,798,791	△ 952,453,645	△ 938,564,880	△ 930,045,805
(配当等相当額)	(101,430,178)	(99,132,976)	(94,169,742)	(92,161,285)	(89,388,786)	(86,880,603)
(売買損益相当額)	(△ 1,097,520,637)	(△ 1,081,740,578)	(△ 1,056,968,533)	(△ 1,044,614,930)	(△ 1,027,953,666)	(△ 1,016,926,408)
繰越損益金	△ 1,575,828,962	△ 1,390,447,151	△ 1,363,104,690	△ 1,309,111,165	△ 1,328,559,223	△ 1,571,166,792

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(a) 経費控除後の配当等収益	8,977,292円	11,290,548円	9,107,182円	10,722,295円	10,112,394円	9,783,234円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	104,552,351	99,739,974	96,663,408	92,880,627	90,513,076	88,181,346
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	113,529,643	111,030,522	105,770,590	103,602,922	100,625,470	97,964,580
(f) 分配金	12,099,465	11,897,546	11,600,848	11,441,637	11,236,684	11,083,977
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	101,430,178	99,132,976	94,169,742	92,161,285	89,388,786	86,880,603
(h) 受益権総口数	4,033,155,331口	3,965,848,831口	3,866,949,558口	3,813,879,223口	3,745,561,542口	3,694,659,326口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
		30円	30円	30円	30円	30円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
72期末(2017年10月10日)	4,572	70	5.7	21,810	3.2	35.37	0.5	—	98.9	89,370
73期末(2017年11月7日)	4,333	70	△ 3.7	22,208	1.8	34.98	△ 1.1	—	98.9	83,152
74期末(2017年12月7日)	4,260	70	△ 0.1	22,535	1.5	34.76	△ 0.6	0.0	99.0	80,293
75期末(2018年1月9日)	4,471	70	6.6	23,550	4.5	34.95	0.5	—	98.9	82,741
76期末(2018年2月7日)	4,071	70	△ 7.4	23,099	△ 1.9	33.82	△ 3.2	—	98.5	74,168
77期末(2018年3月7日)	4,027	70	0.6	23,382	1.2	32.89	△ 2.7	—	98.6	72,555
78期末(2018年4月9日)	3,656	70	△ 7.5	22,322	△ 4.5	31.72	△ 3.6	—	98.4	65,309
79期末(2018年5月7日)	3,492	70	△ 2.6	22,827	2.3	30.88	△ 2.6	—	98.9	61,812
80期末(2018年6月7日)	3,321	70	△ 2.9	23,761	4.1	28.60	△ 7.4	—	98.8	57,864
81期末(2018年7月9日)	3,165	70	△ 2.6	23,654	△ 0.5	28.60	0.0	0.0	99.0	54,364
82期末(2018年8月7日)	3,391	70	9.4	24,430	3.3	29.79	4.2	0.0	98.7	57,499
83期末(2018年9月7日)	2,983	45	△ 10.7	24,667	1.0	27.24	△ 8.6	—	98.8	49,956
84期末(2018年10月9日)	3,251	45	10.5	24,722	0.2	29.90	9.8	—	98.7	52,730
85期末(2018年11月7日)	3,178	45	△ 0.9	23,616	△ 4.5	30.05	0.5	—	98.5	50,527
86期末(2018年12月7日)	2,955	45	△ 5.6	23,106	△ 2.2	29.04	△ 3.4	—	98.7	46,211
87期末(2019年1月7日)	2,772	45	△ 4.7	21,701	△ 6.1	29.20	0.6	—	98.5	42,621
88期末(2019年2月7日)	2,991	45	9.5	23,412	7.9	29.69	1.7	—	98.6	45,520
89期末(2019年3月7日)	2,940	45	△ 0.2	23,753	1.5	29.08	△ 2.1	0.0	98.5	44,116
90期末(2019年4月8日)	2,944	45	1.7	24,793	4.4	28.77	△ 1.1	—	98.7	43,159
91期末(2019年5月7日)	2,838	30	△ 2.6	25,133	1.4	27.90	△ 3.0	—	98.8	41,244
92期末(2019年6月7日)	2,580	30	△ 8.0	24,371	△ 3.0	27.95	0.2	—	98.6	35,761
93期末(2019年7月8日)	2,726	30	6.8	25,630	5.2	28.40	1.6	—	98.7	36,759
94期末(2019年8月7日)	2,457	30	△ 8.8	24,699	△ 3.6	26.79	△ 5.7	—	98.2	32,528
95期末(2019年9月9日)	2,461	30	1.4	25,530	3.4	26.33	△ 1.7	—	98.6	32,197
96期末(2019年10月7日)	2,409	30	△ 0.9	25,301	△ 0.9	26.31	△ 0.1	—	98.6	31,119
97期末(2019年11月7日)	2,618	30	9.9	26,370	4.2	26.73	1.6	—	98.3	33,040
98期末(2019年12月9日)	2,541	30	△ 1.8	26,963	2.2	26.23	△ 1.9	—	98.0	31,542
99期末(2020年1月7日)	2,624	30	4.4	27,823	3.2	26.67	1.7	—	98.0	31,574
100期末(2020年2月7日)	2,483	30	△ 4.2	28,676	3.1	25.66	△ 3.8	—	98.4	29,418
101期末(2020年3月9日)	1,887	30	△ 22.8	25,475	△ 11.2	22.05	△ 14.1	—	98.1	22,140

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (米ドルベース) は、S & P 500指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

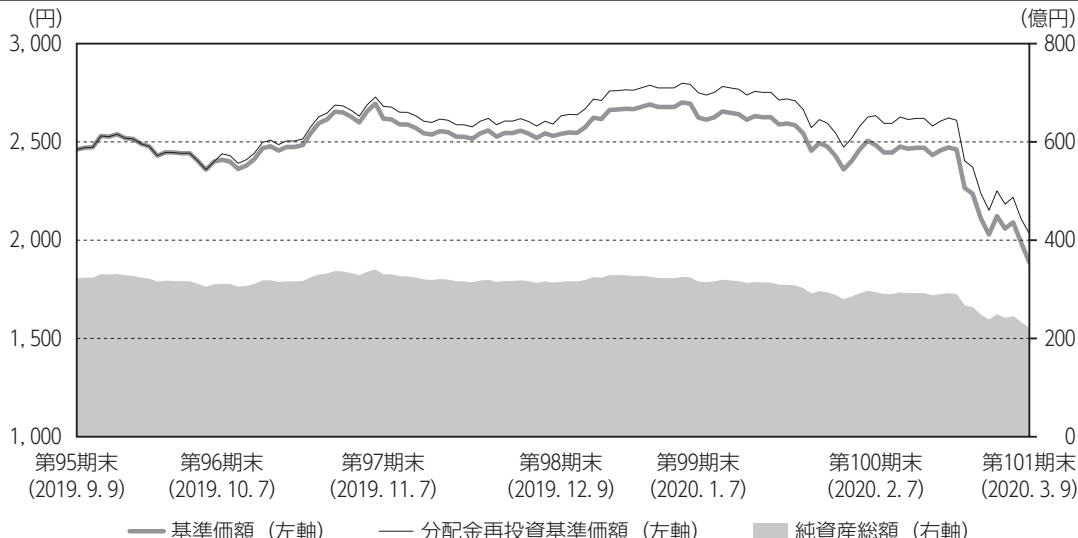
(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第96期首：2,461円

第101期末：1,887円（既払分配金180円）

騰落率：△17.4%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）の下落がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を活用した結果、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラス要因となったものの、「クロッキーモデル」によって選定された銘柄で構築する株式ポートフォリオが下落したことがマイナス要因となり、下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）：オージェンタム・トラストクロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第96期	(期首) 2019年9月9日	2,461	—	25,530	—	26.33	—	—	98.6
	9月末	2,442	△ 0.8	25,385	△ 0.6	25.95	△ 1.4	—	98.3
	(期末) 2019年10月7日	2,439	△ 0.9	25,301	△ 0.9	26.31	△ 0.1	—	98.6
第97期	(期首) 2019年10月7日	2,409	—	25,301	—	26.31	—	—	98.6
	10月末	2,628	9.1	26,113	3.2	27.27	3.6	—	99.1
	(期末) 2019年11月7日	2,648	9.9	26,370	4.2	26.73	1.6	—	98.3
第98期	(期首) 2019年11月7日	2,618	—	26,370	—	26.73	—	—	98.3
	11月末	2,545	△ 2.8	27,029	2.5	26.00	△ 2.7	—	98.4
	(期末) 2019年12月9日	2,571	△ 1.8	26,963	2.2	26.23	△ 1.9	—	98.0
第99期	(期首) 2019年12月9日	2,541	—	26,963	—	26.23	—	—	98.0
	12月末	2,701	6.3	27,769	3.0	27.04	3.1	—	96.8
	(期末) 2020年1月7日	2,654	4.4	27,823	3.2	26.67	1.7	—	98.0
第100期	(期首) 2020年1月7日	2,624	—	27,823	—	26.67	—	—	98.0
	1月末	2,428	△ 7.5	28,143	1.2	25.66	△ 3.8	—	99.3
	(期末) 2020年2月7日	2,513	△ 4.2	28,676	3.1	25.66	△ 3.8	—	98.4
第101期	(期首) 2020年2月7日	2,483	—	28,676	—	25.66	—	—	98.4
	2月末	2,110	△ 15.0	25,530	△ 11.0	24.36	△ 5.1	—	98.1
	(期末) 2020年3月9日	1,917	△ 22.8	25,475	△ 11.2	22.05	△ 14.1	—	98.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2019. 9. 10 ～ 2020. 3. 9）

■米国株式市況

米国株式市場は小幅に上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、世界的な金融緩和期待などを受けて上昇基調で始まりまし
た。また2019年11月からは、米中通商協議の進展期待の高まりなども、上昇要因となりました。し
かし2020年2月下旬以降は、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大などを嫌気して、市況
は急落しました。

■為替相場

ブラジル・リアルは対円で下落（円高）しました。

ブラジル・リアルの対円為替相場は、当作成期首から2019年12月末にかけては一進一退で推移し
た後、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まったことなど
を受けて、リアルは軟調な展開となりました。

■短期金利市況

ブラジルの短期金利は、ブラジル中央銀行が政策金利を6.00%から4.25%に引き下げました。一
方、米国の短期金利は、F R B（米国連邦準備制度理事会）がF O M C（米国連邦公開市場委員
会）で政策金利の誘導目標レンジを2.00～2.25%から1.00～1.25%に引き下げました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マ
ネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・
リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準（G I C S）
の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会
計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率
はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却す
ることでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を活用
して、ブラジル・リアルで実質的な運用を行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019. 9. 10 ~ 2020. 3. 9)

■当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス) への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り/ブラジル・リアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・リアルで実質的な運用を行いました。

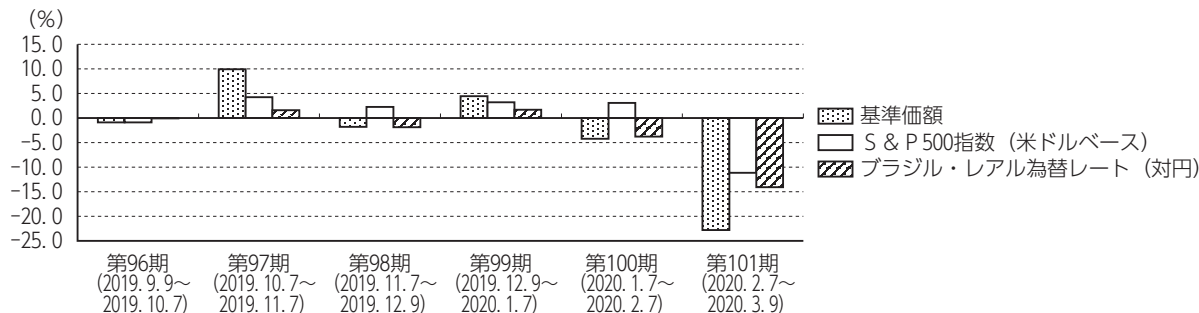
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
	2019年9月10日 ～2019年10月7日	2019年10月8日 ～2019年11月7日	2019年11月8日 ～2019年12月9日	2019年12月10日 ～2020年1月7日	2020年1月8日 ～2020年2月7日	2020年2月8日 ～2020年3月9日
当期分配金(税込み) (円)	30	30	30	30	30	30
対基準価額比率 (%)	1.23	1.13	1.17	1.13	1.19	1.56
当期の収益 (円)	24	24	21	26	22	23
当期の収益以外 (円)	5	5	8	3	7	6
翌期繰越分配対象額 (円)	1,165	1,160	1,151	1,148	1,141	1,134

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 24.18円	✓ 24.84円	✓ 21.65円	✓ 26.56円	✓ 22.92円	✓ 23.23円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 1,171.22	✓ 1,165.41	✓ 1,160.26	✓ 1,151.92	✓ 1,148.50	✓ 1,141.43
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,195.40	1,190.26	1,181.91	1,178.48	1,171.42	1,164.66
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,165.40	1,160.26	1,151.91	1,148.48	1,141.42	1,134.66

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・リアルで実質的な運用を行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第96期～第101期 (2019. 9. 10～2020. 3. 9)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	17円	0. 665%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は2, 504円です。
(投 信 会 社)	(5)	(0. 217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(11)	(0. 435)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(0)	(0. 012)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 002	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	17	0. 667	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

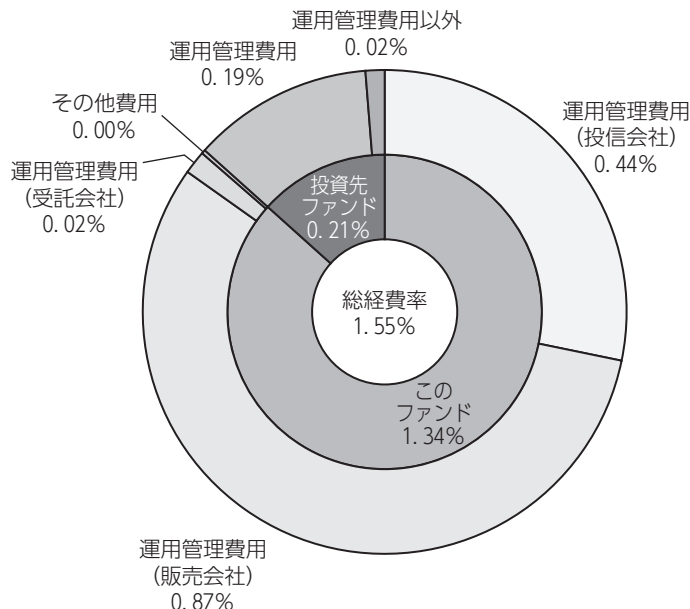
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.55%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.55%
①このファンドの費用の比率	1.34%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.19%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2019年9月10日から2020年3月9日まで)

決算期	第 96 期 ~ 第 101 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 48,027.59941	千円 1,926.659	千口 145,922.51255	千円 5,800,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2019年9月10日から2020年3月9日まで)

第 96 期 ~				第 101 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				CROCI US STRATEGY FUND BRL CLASS (ケイマン諸島)	145,922.51255	5,800,000	39

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 101 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND BRL CLASS	千口 717,083.22266	千円 21,713,279	% 98.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第95期末	第 101 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	4,401	4,401	4,477

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年3月9日現在

項 目	第 101 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	21,713,279	96.3
ダイワ・マネー・マザーファンド	4,477	0.0
コール・ローン等、その他	833,526	3.7
投資信託財産総額	22,551,284	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年10月7日)、(2019年11月7日)、(2019年12月9日)、(2020年1月7日)、(2020年2月7日)、(2020年3月9日)現在

項目	第96期末	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末	第101期末
(A) 資産	31,602,348,623円	33,526,963,237円	31,999,497,803円	32,021,898,330円	29,856,042,387円	22,551,284,599円
コール・ローン等	914,562,163	1,053,585,079	1,088,158,460	1,077,014,130	907,452,478	833,526,857
投資信託受益証券 (評価額)	30,683,307,819	32,468,899,957	30,906,861,142	30,940,405,999	28,944,112,149	21,713,279,982
ダイワ・マネー・マザー ファンド (評価額)	4,478,641	4,478,201	4,478,201	4,478,201	4,477,760	4,477,760
(B) 負債	482,805,008	486,398,022	457,076,131	447,002,797	437,293,853	410,796,588
未払収益分配金	387,553,192	378,595,990	372,362,789	360,977,992	355,496,240	352,001,663
未払解約金	62,438,728	70,718,142	46,532,958	50,670,018	45,930,241	26,396,802
未払信託報酬	32,638,019	36,719,231	37,624,130	34,616,896	34,943,714	31,286,587
その他未払費用	175,069	364,659	556,254	737,891	923,658	1,111,536
(C) 純資産総額 (A - B)	31,119,543,615	33,040,565,215	31,542,421,672	31,574,895,533	29,418,748,534	22,140,488,011
元本	129,184,397,409	126,198,663,542	124,120,929,727	120,325,997,421	118,498,746,937	117,333,887,835
次期繰越損益金	△ 98,064,853,794	△ 93,158,098,327	△ 92,578,508,055	△ 88,751,101,888	△ 89,079,998,403	△ 95,193,399,824
(D) 受益権総口数	129,184,397,409口	126,198,663,542口	124,120,929,727口	120,325,997,421口	118,498,746,937口	117,333,887,835口
1万口当り基準価額 (C/D)	2,409円	2,618円	2,541円	2,624円	2,483円	1,887円

*第95期末における元本額は130,827,370,913円、当作成期間 (第96期～第101期) 中における追加設定元本額は2,060,161,398円、同解約元本額は15,553,644,476円です。

*第101期末の計算口数当りの純資産額は1,887円です。

*第101期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は95,193,399,824円です。

■損益の状況

第96期 自 2019年9月10日 至 2019年10月7日 第98期 自 2019年11月8日 至 2019年12月9日 第100期 自 2020年1月8日 至 2020年2月7日

第97期 自 2019年10月8日 至 2019年11月7日 第99期 自 2019年12月10日 至 2020年1月7日 第101期 自 2020年2月8日 至 2020年3月9日

項目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(A) 配当等収益	345,236,190円	317,378,303円	306,551,723円	327,857,822円	306,748,725円	304,058,185円
受取配当金	345,255,382	317,386,964	306,581,714	327,882,555	306,762,231	304,067,426
受取利息	737	21	210	46	46	15
支払利息	△ 19,929	△ 8,682	△ 30,201	△ 24,779	△ 13,552	△ 9,256
(B) 有価証券売買損益	△ 598,946,398	2,737,901,966	△ 850,262,300	1,064,559,326	△ 1,592,076,704	△ 6,908,551,298
売買益	4,579,184	2,765,973,117	18,640,129	1,100,524,707	12,475,609	26,270,270
売買損	△ 603,525,582	△ 28,071,151	△ 868,902,429	△ 35,965,381	△ 1,604,552,313	△ 6,934,821,568
(C) 信託報酬等	△ 32,813,088	△ 36,908,956	△ 37,815,727	△ 34,798,996	△ 35,129,841	△ 31,474,465
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 286,523,296	3,018,371,313	△ 581,526,304	1,357,618,152	△ 1,320,457,460	△ 6,635,967,578
(E) 前期繰越損益金	△ 56,272,469,627	△ 55,399,351,514	△ 51,692,434,478	△ 50,807,246,961	△ 48,862,814,579	△ 49,815,002,426
(F) 追加信託差損益金	△ 41,118,307,679	△ 40,398,522,136	△ 39,932,184,484	△ 38,940,495,087	△ 38,541,230,124	△ 38,390,428,157
(配当等相当額)	(15,130,401,724)	(14,707,405,644)	(14,401,355,457)	(13,860,618,881)	(13,609,619,674)	(13,392,844,211)
(売買損益相当額)	(△ 56,248,709,403)	(△ 55,105,927,780)	(△ 54,333,539,941)	(△ 52,801,113,968)	(△ 52,150,849,798)	(△ 51,783,272,368)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 97,677,300,602	△ 92,779,502,337	△ 92,206,145,266	△ 88,390,123,896	△ 88,724,502,163	△ 94,841,398,161
(H) 収益分配金	△ 387,553,192	△ 378,595,990	△ 372,362,789	△ 360,977,992	△ 355,496,240	△ 352,001,663
次期繰越損益金 (G + H)	△ 98,064,853,794	△ 93,158,098,327	△ 92,578,508,055	△ 88,751,101,888	△ 89,079,998,403	△ 95,193,399,824
追加信託差損益金	△ 41,193,437,952	△ 40,463,574,747	△ 40,035,811,440	△ 38,981,810,597	△ 38,625,107,226	△ 38,469,846,179
(配当等相当額)	(15,055,271,451)	(14,642,353,033)	(14,297,728,501)	(13,819,303,371)	(13,525,742,572)	(13,313,426,189)
(売買損益相当額)	(△ 56,248,709,403)	(△ 55,105,927,780)	(△ 54,333,539,941)	(△ 52,801,113,968)	(△ 52,150,849,798)	(△ 51,783,272,368)
繰越損益金	△ 56,871,415,842	△ 52,694,523,580	△ 52,542,696,615	△ 49,769,291,291	△ 50,454,891,177	△ 56,723,553,645

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(a) 経費控除後の配当等収益	312,422,919円	313,543,379円	268,735,833円	319,662,482円	271,619,138円	272,583,641円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	15,130,401,724	14,707,405,644	14,401,355,457	13,860,618,881	13,609,619,674	13,392,844,211
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	15,442,824,643	15,020,949,023	14,670,091,290	14,180,281,363	13,881,238,812	13,665,427,852
(f) 分配金	387,553,192	378,595,990	372,362,789	360,977,992	355,496,240	352,001,663
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	15,055,271,451	14,642,353,033	14,297,728,501	13,819,303,371	13,525,742,572	13,313,426,189
(h) 受益権総口数	129,184,397,409口	126,198,663,542口	124,120,929,727口	120,325,997,421口	118,498,746,937口	117,333,887,835口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
		30円	30円	30円	30円	30円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

米ドル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期 騰落率	(参考指数)	期 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
72期末(2017年10月10日)	8,114	140	6.9	32,043	6.6	—	99.3	11,585
73期末(2017年11月7日)	7,950	140	△ 0.3	32,908	2.7	—	98.4	11,261
74期末(2017年12月7日)	7,667	140	△ 1.8	33,034	0.4	0.0	99.1	10,690
75期末(2018年1月9日)	8,015	140	6.4	34,722	5.1	—	98.6	10,984
76期末(2018年2月7日)	7,339	140	△ 6.7	32,920	△ 5.2	—	98.7	9,943
77期末(2018年3月7日)	7,141	140	△ 0.8	32,177	△ 2.3	—	98.7	9,614
78期末(2018年4月9日)	6,758	140	△ 3.4	31,082	△ 3.4	—	98.5	9,050
79期末(2018年5月7日)	6,773	140	2.3	32,405	4.3	—	99.1	8,996
80期末(2018年6月7日)	6,929	140	4.4	34,105	5.2	—	98.5	9,309
81期末(2018年7月9日)	6,743	140	△ 0.7	34,052	△ 0.2	0.0	98.5	8,794
82期末(2018年8月7日)	6,860	140	3.8	35,434	4.1	0.0	98.4	8,954
83期末(2018年9月7日)	6,736	90	△ 0.5	35,517	0.2	—	98.4	8,765
84期末(2018年10月9日)	6,835	90	2.8	36,388	2.5	—	98.8	8,553
85期末(2018年11月7日)	6,427	90	△ 4.7	34,817	△ 4.3	—	98.6	7,998
86期末(2018年12月7日)	6,222	90	△ 1.8	33,956	△ 2.5	—	98.8	7,601
87期末(2019年1月7日)	5,572	90	△ 9.0	30,683	△ 9.6	—	98.9	6,786
88期末(2019年2月7日)	5,984	90	9.0	33,536	9.3	—	98.9	7,241
89期末(2019年3月7日)	6,003	90	1.8	34,561	3.1	0.0	98.6	7,055
90期末(2019年4月8日)	6,145	90	3.9	35,999	4.2	—	98.9	7,120
91期末(2019年5月7日)	6,006	60	△ 1.3	36,248	0.7	—	98.7	6,950
92期末(2019年6月7日)	5,387	60	△ 9.3	34,459	△ 4.9	—	98.7	5,926
93期末(2019年7月8日)	5,619	60	5.4	36,246	5.2	—	98.7	6,029
94期末(2019年8月7日)	5,270	60	△ 5.1	34,167	△ 5.7	—	98.4	5,530
95期末(2019年9月9日)	5,413	60	3.9	35,575	4.1	—	98.4	5,509
96期末(2019年10月7日)	5,291	60	△ 1.1	35,187	△ 1.1	—	98.2	5,315
97期末(2019年11月7日)	5,750	60	9.8	37,430	6.4	—	98.7	5,591
98期末(2019年12月9日)	5,745	60	1.0	38,152	1.9	—	98.0	5,384
99期末(2020年1月7日)	5,778	60	1.6	39,311	3.0	—	97.7	5,390
100期末(2020年2月7日)	5,765	60	0.8	41,069	4.5	—	98.3	5,308
101期末(2020年3月9日)	4,797	60	△ 15.8	33,860	△ 17.6	—	98.1	4,316

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数(円換算)は、S & P 500指数(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数(米ドルベース)の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

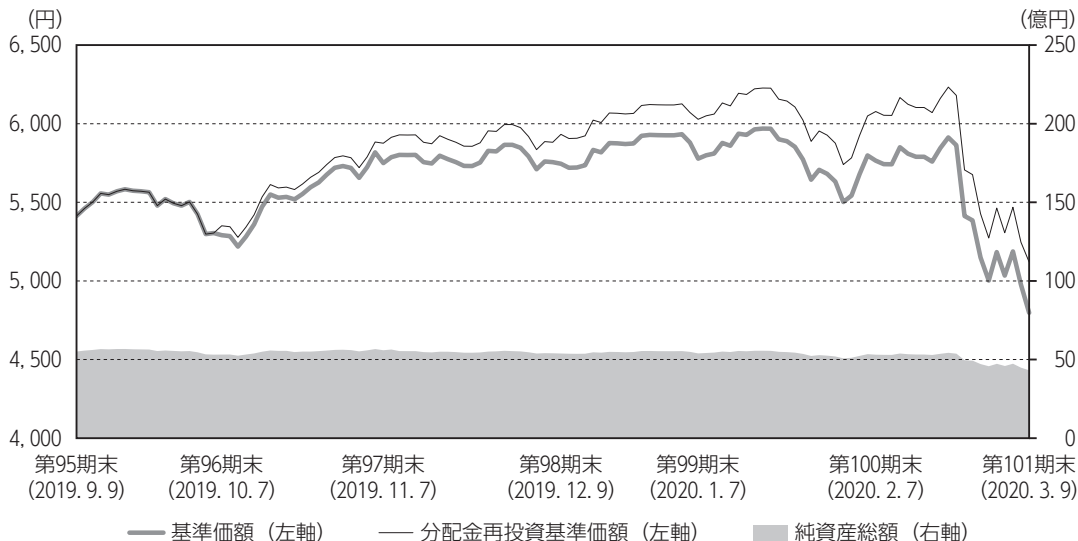
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第96期首：5,413円

第101期末：4,797円 (既払分配金360円)

騰落率：△5.4% (分配金再投資ベース)

基準価額の主な変動要因

クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) の下落がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、「クロッキーモデル」によって選定された銘柄で構築する株式ポートフォリオが下落したこと、オプション取引戦略や米ドルが対円で下落したことがマイナス要因となり、下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)：オージェンタム・トラスト
クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
第96期	(期首) 2019年9月9日	円 5,413	% —	35,575	% —	% —	% 98.4
	9月末	5,479	1.2	35,694	0.3	—	98.2
	(期末) 2019年10月7日	5,351	△ 1.1	35,187	△ 1.1	—	98.2
第97期	(期首) 2019年10月7日	5,291	—	35,187	—	—	98.2
	10月末	5,719	8.1	37,045	5.3	—	99.1
	(期末) 2019年11月7日	5,810	9.8	37,430	6.4	—	98.7
第98期	(期首) 2019年11月7日	5,750	—	37,430	—	—	98.7
	11月末	5,866	2.0	38,584	3.1	—	98.1
	(期末) 2019年12月9日	5,805	1.0	38,152	1.9	—	98.0
第99期	(期首) 2019年12月9日	5,745	—	38,152	—	—	98.0
	12月末	5,933	3.3	39,641	3.9	—	96.7
	(期末) 2020年1月7日	5,838	1.6	39,311	3.0	—	97.7
第100期	(期首) 2020年1月7日	5,778	—	39,311	—	—	97.7
	1月末	5,632	△ 2.5	39,991	1.7	—	98.9
	(期末) 2020年2月7日	5,825	0.8	41,069	4.5	—	98.3
第101期	(期首) 2020年2月7日	5,765	—	41,069	—	—	98.3
	2月末	5,149	△ 10.7	36,401	△ 11.4	—	98.1
	(期末) 2020年3月9日	4,857	△ 15.8	33,860	△ 17.6	—	98.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2019. 9. 10 ～ 2020. 3. 9）

■米国株式市況

米国株式市場は小幅に上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、世界的な金融緩和期待などを受けて上昇基調で始まりまし
た。また2019年11月からは、米中通商協議の進展期待の高まりなども、上昇要因となりました。し
かし2020年2月下旬以降は、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大などを嫌気して、市況
は急落しました。

■為替相場

米ドルは対円で下落（円高）しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首より、米中貿易摩擦懸念の後退などを背景に2020年2月下旬
にかけて上昇基調で推移しました。その後は、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念から、米
ドル円は急落して当作成期末を迎えました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネー・マ
ザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）へ
の投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準（G I C S）
の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会
計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率
はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却す
ることでカバードコール戦略を構築します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2019. 9. 10～2020. 3. 9）

■当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

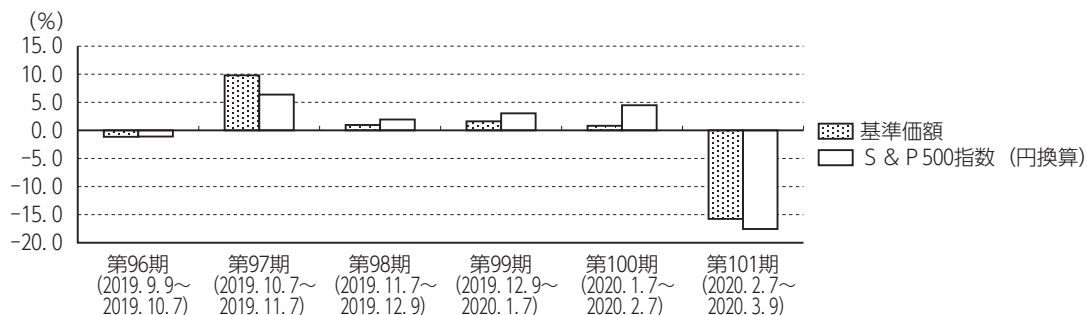
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
	2019年9月10日 ～2019年10月7日	2019年10月8日 ～2019年11月7日	2019年11月8日 ～2019年12月9日	2019年12月10日 ～2020年1月7日	2020年1月8日 ～2020年2月7日	2020年2月8日 ～2020年3月9日
当期分配金(税込み) (円)	60	60	60	60	60	60
対基準価額比率 (%)	1.12	1.03	1.03	1.03	1.03	1.24
当期の収益 (円)	37	45	39	43	42	41
当期の収益以外 (円)	22	14	20	16	17	18
翌期繰越分配対象額 (円)	1,021	1,007	986	970	952	934

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 37.80円	✓ 45.58円	✓ 39.03円	✓ 43.62円	✓ 42.47円	✓ 41.88円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 1,043.71	✓ 1,021.57	✓ 1,007.50	✓ 986.56	✓ 970.22	✓ 952.80
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,081.52	1,067.15	1,046.54	1,030.18	1,012.70	994.69
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,021.52	1,007.15	986.54	970.18	952.70	934.69

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第96期～第101期 (2019. 9. 10～2020. 3. 9)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	38円	0.667%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は5,662円です。
(投 信 会 社)	(12)	(0.218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(25)	(0.436)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	38	0.670	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

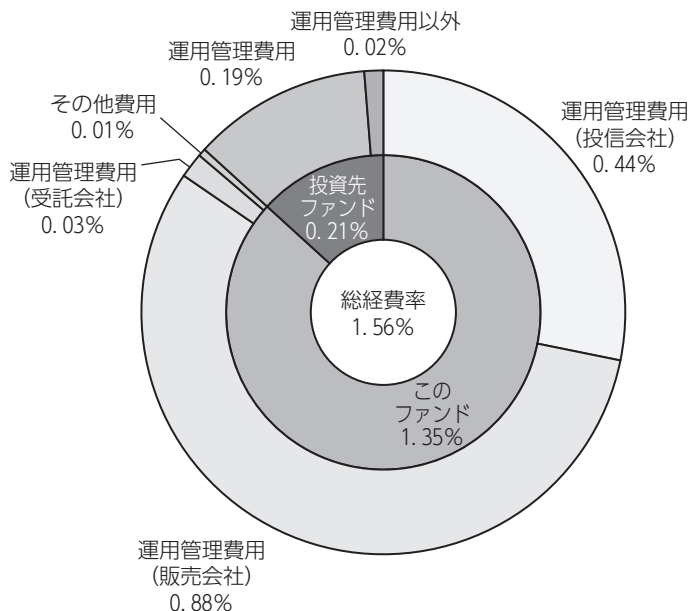
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.56%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.56%
①このファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.19%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2019年9月10日から2020年3月9日まで)

決算期	第 96 期 ~ 第 101 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	2,193.95075	265,127	8,731.57442	1,030,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2019年9月10日から2020年3月9日まで)

第 96 期 ~				第 101 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS (ケイマン諸島)	8,731.57442	1,030,000	117

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 101 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS	41,399.50951	4,236,204	98.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第95期末	第 101 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	12	12	13

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年3月9日現在

項 目	第 101 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	4,236,204	95.4
ダイワ・マネー・マザーファンド	13	0.0
コール・ローン等、その他	205,538	4.6
投資信託財産総額	4,441,755	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年10月7日)、(2019年11月7日)、(2019年12月9日)、(2020年1月7日)、(2020年2月7日)、(2020年3月9日)現在

項目	第96期末	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末	第101期末
(A) 資産	5,410,235,555円	5,680,138,762円	5,480,689,301円	5,455,321,120円	5,379,903,499円	4,441,755,891円
コール・ローン等	192,782,649	162,110,050	205,559,561	187,758,487	162,397,778	205,538,076
投資信託受益証券 (評価額)	5,217,439,899	5,518,015,706	5,275,116,734	5,267,549,627	5,217,492,716	4,236,204,810
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	13,007	13,006	13,006	13,006	13,005	13,005
(B) 負債	94,532,243	88,303,138	96,483,121	64,793,332	71,423,929	125,072,000
未払収益分配金	60,281,802	58,346,138	56,234,732	55,980,644	55,247,510	53,994,140
未払解約金	28,562,034	23,612,359	33,665,171	2,804,081	9,828,559	65,050,975
未払信託報酬	5,653,300	6,271,176	6,470,064	5,859,678	6,161,223	5,804,725
その他未払費用	35,107	73,465	113,154	148,929	186,637	222,160
(C) 純資産総額 (A - B)	5,315,703,312	5,591,835,624	5,384,206,180	5,390,527,788	5,308,479,570	4,316,683,891
元本	10,046,967,083	9,724,356,438	9,372,455,486	9,330,107,407	9,207,918,359	8,999,023,495
次期繰越損益金	△ 4,731,263,771	△ 4,132,520,814	△ 3,988,249,306	△ 3,939,579,619	△ 3,899,438,789	△ 4,682,339,604
(D) 受益権総口数	10,046,967,083口	9,724,356,438口	9,372,455,486口	9,330,107,407口	9,207,918,359口	8,999,023,495口
1万口当り基準価額 (C/D)	5,291円	5,750円	5,745円	5,778円	5,765円	4,797円

*第95期末における元本額は10,178,086,553円、当作成期間 (第96期~第101期) 中における追加設定元本額は480,309,434円、同解約元本額は1,659,372,492円です。

*第101期末の計算口数当りの純資産額は4,797円です。

*第101期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,682,339,604円です。

■損益の状況

第96期 自 2019年9月10日 至 2019年10月7日 第98期 自 2019年11月8日 至 2019年12月9日 第100期 自 2020年1月8日 至 2020年2月7日
 第97期 自 2019年10月8日 至 2019年11月7日 第99期 自 2019年12月10日 至 2020年1月7日 第101期 自 2020年2月8日 至 2020年3月9日

項目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(A) 配当等収益	43,670,591円	44,880,337円	41,295,955円	43,514,414円	44,663,415円	43,535,756円
受取配当金	43,674,415	44,882,307	41,301,653	43,518,599	44,666,535	43,537,533
受取利息	142	8	51	5	8	4
支払利息	△ 3,966	△ 1,978	△ 5,749	△ 4,190	△ 3,128	△ 1,781
(B) 有価証券売買損益	△ 99,657,061	466,237,140	15,726,803	47,832,543	5,227,164	△ 853,920,309
売買益	1,645,028	474,881,360	16,240,542	48,860,832	8,262,812	11,664,834
売買損	△ 101,302,089	△ 8,644,220	△ 513,739	△ 1,028,289	△ 3,035,648	△ 865,585,143
(C) 信託報酬等	△ 5,688,407	△ 6,309,557	△ 6,509,753	△ 5,895,544	△ 6,198,931	△ 5,840,248
(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)	△ 61,674,877	504,807,920	50,513,005	85,451,413	43,691,648	△ 816,224,801
(E) 前期繰越損益金	△ 1,792,477,105	△ 1,819,227,967	△ 1,294,884,819	△ 1,259,091,926	△ 1,190,243,996	△ 1,151,172,474
(F) 追加信託差損益金	△ 2,816,829,987	△ 2,759,754,629	△ 2,687,642,760	△ 2,709,958,462	△ 2,697,638,931	△ 2,660,948,189
(配当等相当額)	(1,048,618,637)	(993,417,277)	(944,283,902)	(920,471,168)	(893,375,009)	(857,430,382)
(売買損益相当額)	(△ 3,865,448,624)	(△ 3,753,171,906)	(△ 3,631,926,662)	(△ 3,630,429,630)	(△ 3,591,013,940)	(△ 3,518,378,571)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 4,670,981,969	△ 4,074,174,676	△ 3,932,014,574	△ 3,883,598,975	△ 3,844,191,279	△ 4,628,345,464
(H) 収益分配金	△ 60,281,802	△ 58,346,138	△ 56,234,732	△ 55,980,644	△ 55,247,510	△ 53,994,140
次期繰越損益金 (G + H)	△ 4,731,263,771	△ 4,132,520,814	△ 3,988,249,306	△ 3,939,579,619	△ 3,899,438,789	△ 4,682,339,604
追加信託差損益金	△ 2,839,129,605	△ 2,773,774,409	△ 2,707,295,900	△ 2,725,233,329	△ 2,713,772,309	△ 2,677,246,821
(配当等相当額)	(1,026,319,019)	(979,397,497)	(924,630,762)	(905,196,301)	(877,241,631)	(841,131,750)
(売買損益相当額)	(△ 3,865,448,624)	(△ 3,753,171,906)	(△ 3,631,926,662)	(△ 3,630,429,630)	(△ 3,591,013,940)	(△ 3,518,378,571)
繰越損益金	△ 1,892,134,166	△ 1,358,746,405	△ 1,280,953,406	△ 1,214,346,290	△ 1,185,666,480	△ 2,005,092,783

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(a) 経費控除後の配当等収益	37,982,184円	44,326,358円	36,581,592円	40,705,777円	39,114,132円	37,695,508円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	1,048,618,637	993,417,277	944,283,902	920,471,168	893,375,009	857,430,382
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,086,600,821	1,037,743,635	980,865,494	961,176,945	932,489,141	895,125,890
(f) 分配金	60,281,802	58,346,138	56,234,732	55,980,644	55,247,510	53,994,140
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,026,319,019	979,397,497	924,630,762	905,196,301	877,241,631	841,131,750
(h) 受益権総口数	10,046,967,083口	9,724,356,438口	9,372,455,486口	9,330,107,407口	9,207,918,359口	8,999,023,495口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
	60円	60円	60円	60円	60円	60円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

〈お知らせ〉

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

通貨セレクト・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰 落率	(参考指数)	期騰 落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
52期末(2017年10月10日)	4,907	100	4.7	15,381	3.2	—	98.4	345
53期末(2017年11月7日)	4,708	100	△ 2.0	15,662	1.8	—	98.8	330
54期末(2017年12月7日)	4,563	100	△ 1.0	15,892	1.5	0.0	98.6	322
55期末(2018年1月9日)	4,847	100	8.4	16,608	4.5	—	97.5	393
56期末(2018年2月7日)	4,487	70	△ 6.0	16,291	△ 1.9	—	97.7	379
57期末(2018年3月7日)	4,377	70	△ 0.9	16,490	1.2	—	98.9	347
58期末(2018年4月9日)	4,125	70	△ 4.2	15,743	△ 4.5	—	98.4	317
59期末(2018年5月7日)	4,004	70	△ 1.2	16,099	2.3	—	98.7	261
60期末(2018年6月7日)	3,971	70	0.9	16,757	4.1	—	99.1	247
61期末(2018年7月9日)	3,857	70	△ 1.1	16,682	△ 0.5	0.0	98.8	238
62期末(2018年8月7日)	3,858	70	1.8	17,229	3.3	0.0	98.6	228
63期末(2018年9月7日)	3,506	70	△ 7.3	17,396	1.0	—	98.4	224
64期末(2018年10月9日)	3,611	70	5.0	17,435	0.2	—	99.1	245
65期末(2018年11月7日)	3,457	70	△ 2.3	16,655	△ 4.5	—	98.6	247
66期末(2018年12月7日)	3,350	70	△ 1.1	16,296	△ 2.2	—	99.1	275
67期末(2019年1月7日)	3,063	40	△ 7.4	15,304	△ 6.1	—	98.5	255
68期末(2019年2月7日)	3,355	40	10.8	16,511	7.9	—	99.2	267
69期末(2019年3月7日)	3,363	40	1.4	16,752	1.5	0.0	98.8	269
70期末(2019年4月8日)	3,499	40	5.2	17,485	4.4	—	99.0	274
71期末(2019年5月7日)	3,389	40	△ 2.0	17,725	1.4	—	98.7	254
72期末(2019年6月7日)	3,062	40	△ 8.5	17,187	△ 3.0	—	95.7	233
73期末(2019年7月8日)	3,262	40	7.8	18,075	5.2	—	98.5	241
74期末(2019年8月7日)	3,017	40	△ 6.3	17,419	△ 3.6	—	98.3	214
75期末(2019年9月9日)	3,087	40	3.6	18,005	3.4	—	99.2	220
76期末(2019年10月7日)	3,036	40	△ 0.4	17,843	△ 0.9	—	98.0	200
77期末(2019年11月7日)	3,316	40	10.5	18,597	4.2	—	98.1	202
78期末(2019年12月9日)	3,309	40	1.0	19,015	2.2	—	98.1	196
79期末(2020年1月7日)	3,339	40	2.1	19,622	3.2	—	98.2	196
80期末(2020年2月7日)	3,345	40	1.4	20,223	3.1	—	98.3	190
81期末(2020年3月9日)	2,671	40	△ 19.0	17,966	△ 11.2	—	98.2	152

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (米ドルベース) は、S & P 500指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

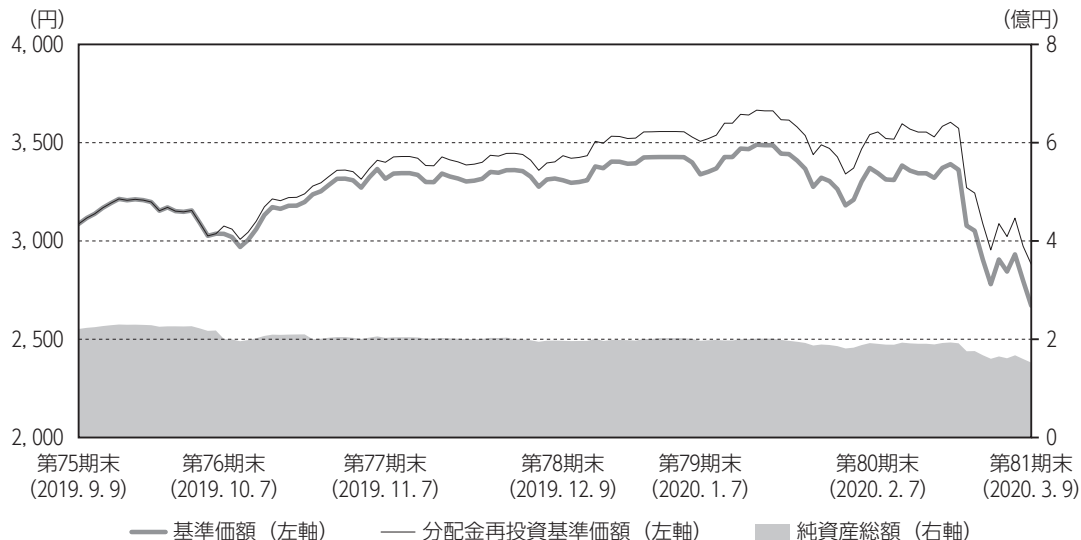
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第76期首：3,087円

第81期末：2,671円（既払分配金240円）

騰落率：△6.7%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）の下落がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用した結果、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラス要因となったものの、「クロッキーモデル」によって選定された銘柄で構築する株式ポートフォリオが下落したこと、オプション取引戦略や選定通貨が対円でおおむね下落したことがマイナス要因となり、下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）：オージェンタム・トラスト
トククロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	%	(参考指数)	%		
第76期	(期首) 2019年 9月 9日	3,087	—	18,005	—	—	99.2
	9月末	3,148	2.0	17,902	△ 0.6	—	98.6
	(期末) 2019年10月 7日	3,076	△ 0.4	17,843	△ 0.9	—	98.0
第77期	(期首) 2019年10月 7日	3,036	—	17,843	—	—	98.0
	10月末	3,309	9.0	18,416	3.2	—	99.1
	(期末) 2019年11月 7日	3,356	10.5	18,597	4.2	—	98.1
第78期	(期首) 2019年11月 7日	3,316	—	18,597	—	—	98.1
	11月末	3,361	1.4	19,062	2.5	—	99.9
	(期末) 2019年12月 9日	3,349	1.0	19,015	2.2	—	98.1
第79期	(期首) 2019年12月 9日	3,309	—	19,015	—	—	98.1
	12月末	3,426	3.5	19,584	3.0	—	97.1
	(期末) 2020年 1月 7日	3,379	2.1	19,622	3.2	—	98.2
第80期	(期首) 2020年 1月 7日	3,339	—	19,622	—	—	98.2
	1月末	3,264	△ 2.2	19,848	1.2	—	99.1
	(期末) 2020年 2月 7日	3,385	1.4	20,223	3.1	—	98.3
第81期	(期首) 2020年 2月 7日	3,345	—	20,223	—	—	98.3
	2月末	2,905	△ 13.2	18,005	△ 11.0	—	98.1
	(期末) 2020年 3月 9日	2,711	△ 19.0	17,966	△ 11.2	—	98.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2019. 9. 10 ～ 2020. 3. 9）

■ 米国株式市況

米国株式市場は小幅に上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、世界的な金融緩和期待などを受けて上昇基調で始まりまし
た。また2019年11月からは、米中通商協議の進展期待の高まりなども、上昇要因となりました。し
かし2020年2月下旬以降は、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大などを嫌気して、市況
は急落しました。

■ 為替相場

選定通貨（※）は対円でおおむね下落（円高）しました。

当作成期首から2019年12月末にかけては、米中貿易摩擦への懸念が後退し、市場のリスク選好度
が強まったことなどから、選定通貨は対円でおおむね上昇しました。しかし2020年1月以降は、新
型コロナウイルスの世界的な感染拡大から市場のリスク回避姿勢が強まったことで、選定通貨は対
円で下落しました。

当作成期においての選定通貨の値動きは、インド・ルピー、インドネシア・ルピア、メキシコ・
ペソ、ロシア・ルーブル、トルコ・リラ、ルーマニア・レイは対円で下落しました。一方で、中
国・人民元は対円で上昇しました。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいま
す。

■ 短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米ドルの短期金利をおおむね上
回って推移しました。一方、米国の短期金利は、F R B（米国連邦準備制度理事会）がF O M C
（米国連邦公開市場委員会）で政策金利の誘導目標レンジを2. 00～2. 25%から1. 00～1. 25%に引き
下げました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準 (G I C S) の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り/選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行います。選定通貨については原則として、F T S E世界国債インデックスおよびJ P モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマーGING・マーケッツ ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019. 9. 10 ~ 2020. 3. 9)

■当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行いました。選定通貨においては、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、中長期的な視点から安定したキャリー（利息収入）収益が享受できる通貨を毎月6通貨選定し、運用を行いました。また、選定通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100%を維持しました。

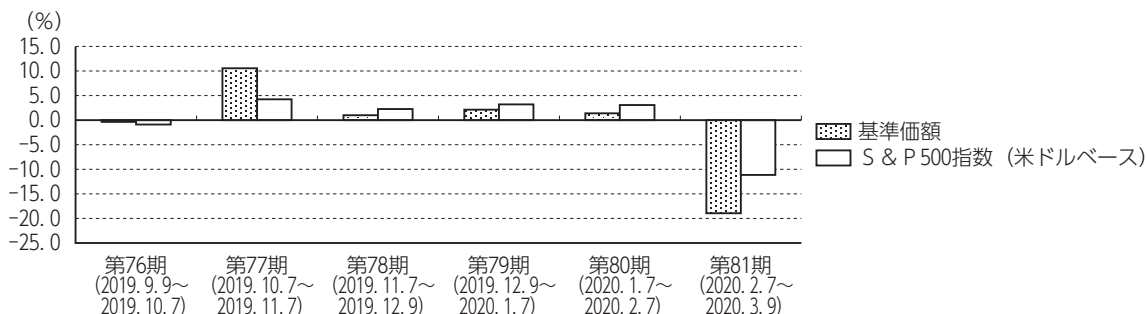
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第76期	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期
	2019年9月10日 ～2019年10月7日	2019年10月8日 ～2019年11月7日	2019年11月8日 ～2019年12月9日	2019年12月10日 ～2020年1月7日	2020年1月8日 ～2020年2月7日	2020年2月8日 ～2020年3月9日
当期分配金(税込み) (円)	40	40	40	40	40	40
対基準価額比率 (%)	1.30	1.19	1.19	1.18	1.18	1.48
当期の収益 (円)	40	40	37	40	36	38
当期の収益以外 (円)	—	—	2	—	3	1
翌期繰越分配対象額 (円)	420	422	419	421	418	417

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第76期	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 41.43円	✓ 41.78円	✓ 37.01円	✓ 42.00円	✓ 36.81円	✓ 38.77円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	365.89	366.24	366.34	367.60	367.83	369.68
(d) 分配準備積立金	53.00	54.16	✓ 55.86	51.93	✓ 53.72	✓ 49.47
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	460.33	462.19	459.22	461.53	458.37	457.93
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	420.33	422.19	419.22	421.53	418.37	417.93

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行います。選定通貨については原則として、F T S E世界国債インデックスおよびJ P モルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケットズ ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第76期～第81期 (2019. 9. 10～2020. 3. 9)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	22円	0.666%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は3,261円です。
(投 信 会 社)	(7)	(0.217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(14)	(0.436)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(0)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	22	0.669	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

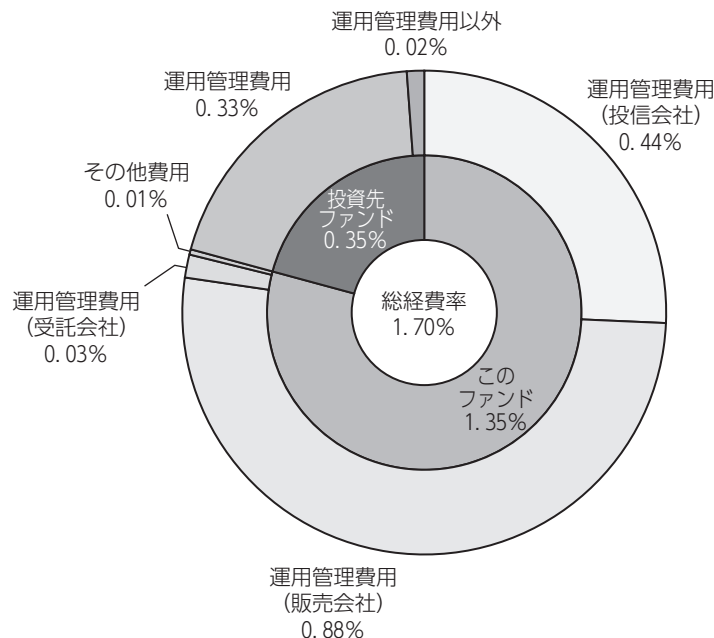
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.70%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.70%
①このファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.33%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2019年9月10日から2020年3月9日まで)

決算期	第76期～第81期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国 (邦貨建)	千口 505.37963	千円 17,853	千口 1,873.92276	千円 64,500

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2019年9月10日から2020年3月9日まで)

第76期～				第81期			
買付		売付		買付		売付	
銘柄	□数	金額	平均単価	銘柄	□数	金額	平均単価
CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS (ケイマン諸島)	千口 63.71659	千円 2,000	円 31	CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS (ケイマン諸島)	千口 1,873.92276	千円 64,500	円 34

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第81期末		
	□数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS	千口 5,120.63643	千円 149,578	% 98.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第75期末	第81期末	
	□数	□数	評価額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 98	千口 98	千円 99

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年3月9日現在

項目	第81期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 149,578	% 96.5
ダイワ・マネー・マザーファンド	99	0.1
コール・ローン等、その他	5,268	3.4
投資信託財産総額	154,947	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年10月7日)、(2019年11月7日)、(2019年12月9日)、(2020年1月7日)、(2020年2月7日)、(2020年3月9日)現在

項目	第76期末	第77期末	第78期末	第79期末	第80期末	第81期末
(A) 資産	238,681,246円	205,881,766円	199,391,781円	199,375,748円	193,041,774円	154,947,267円
コール・ローン等	6,339,062	6,972,808	6,266,152	5,939,182	5,716,773	5,268,485
投資信託受益証券 (評価額)	196,242,293	198,809,076	193,025,747	193,336,684	187,225,129	149,578,910
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	99,892	99,882	99,882	99,882	99,872	99,872
未収入金	35,999,999	—	—	—	—	—
(B) 負債	38,391,585	3,162,000	2,619,399	2,581,561	2,507,067	2,564,989
未払金	18,000,000	—	—	—	—	—
未払収益分配金	2,639,025	2,445,383	2,378,553	2,357,562	2,278,422	2,281,860
未払解約金	17,521,746	481,425	—	5,074	—	68,082
未払信託報酬	229,406	232,372	236,592	213,379	221,757	206,911
その他未払費用	1,408	2,820	4,254	5,546	6,888	8,136
(C) 純資産総額 (A - B)	200,289,661	202,719,766	196,772,382	196,794,187	190,534,707	152,382,278
元本	659,756,286	611,345,975	594,638,294	589,390,582	569,605,675	570,465,173
次期繰越損益金	△ 459,466,625	△ 408,626,209	△ 397,865,912	△ 392,596,395	△ 379,070,968	△ 418,082,895
(D) 受益権総口数	659,756,286口	611,345,975口	594,638,294口	589,390,582口	569,605,675口	570,465,173口
1万口当り基準価額 (C/D)	3,036円	3,316円	3,309円	3,339円	3,345円	2,671円

*第75期末における元本額は715,366,458円、当作成期間(第76期～第81期)中における追加設定元本額は35,549,233円、同解約元本額は180,450,518円です。

*第81期末の計算口数当りの純資産額は2,671円です。

*第81期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は418,082,895円です。

■損益の状況

第76期 自 2019年9月10日 至 2019年10月7日 第78期 自 2019年11月8日 至 2019年12月9日 第80期 自 2020年1月8日 至 2020年2月7日
 第77期 自 2019年10月8日 至 2019年11月7日 第79期 自 2019年12月10日 至 2020年1月7日 第81期 自 2020年2月8日 至 2020年3月9日

項目	第76期	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期
(A) 配当等収益	2,964,265円	2,585,227円	2,439,254円	2,607,647円	2,275,740円	2,419,892円
受取配当金	2,964,346	2,585,329	2,439,407	2,607,853	2,275,814	2,419,941
受取利息	4	—	1	—	—	—
支払利息	△ 85	△ 102	△ 154	△ 206	△ 74	△ 49
(B) 有価証券売買損益	△ 3,485,147	17,183,859	△ 230,284	1,627,153	564,233	△ 37,982,161
売買益	494,009	17,784,017	28,951	1,704,379	695,754	612,016
売買損	△ 3,979,156	△ 600,158	△ 259,235	△ 77,226	△ 131,521	△ 38,594,177
(C) 信託報酬等	△ 230,814	△ 233,784	△ 238,026	△ 214,673	△ 223,099	△ 208,159
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 751,696	19,535,302	1,970,944	4,020,127	2,616,874	△ 35,770,428
(E) 前期繰越損益金	△ 106,202,354	△ 101,037,510	△ 81,524,673	△ 79,754,147	△ 75,177,379	△ 73,378,711
(F) 追加信託差損益金	△ 349,873,550	△ 324,678,618	△ 315,933,630	△ 314,504,813	△ 304,232,041	△ 306,651,896
(配当等相当額)	(24,140,434)	(22,390,348)	(21,784,200)	(21,666,142)	(20,952,292)	(21,089,196)
(売買損益相当額)	(△ 374,013,984)	(△ 347,068,966)	(△ 337,717,830)	(△ 336,170,955)	(△ 325,184,333)	(△ 327,741,092)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 456,827,600	△ 406,180,826	△ 395,487,359	△ 390,238,833	△ 376,792,546	△ 415,801,035
(H) 収益分配金	△ 2,639,025	△ 2,445,383	△ 2,378,553	△ 2,357,562	△ 2,278,422	△ 2,281,860
次期繰越損益金 (G + H)	△ 459,466,625	△ 408,626,209	△ 397,865,912	△ 392,596,395	△ 379,070,968	△ 418,082,895
追加信託差損益金	△ 349,873,550	△ 324,678,618	△ 315,933,630	△ 314,504,813	△ 304,232,041	△ 306,651,896
(配当等相当額)	(24,140,434)	(22,390,348)	(21,784,200)	(21,666,142)	(20,952,292)	(21,089,196)
(売買損益相当額)	(△ 374,013,984)	(△ 347,068,966)	(△ 337,717,830)	(△ 336,170,955)	(△ 325,184,333)	(△ 327,741,092)
分配準備積立金	3,591,557	3,420,443	3,144,397	3,178,691	2,878,619	2,752,326
繰越損益金	△ 113,184,632	△ 87,368,034	△ 85,076,679	△ 81,270,273	△ 77,717,546	△ 114,183,325

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第76期	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期
(a) 経費控除後の配当等収益	2,733,451円	2,554,648円	2,201,228円	2,475,449円	2,096,971円	2,211,733円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	24,140,434	22,390,348	21,784,200	21,666,142	20,952,292	21,089,196
(d) 分配準備積立金	3,497,131	3,311,178	3,321,722	3,060,804	3,060,070	2,822,453
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	30,371,016	28,256,174	27,307,150	27,202,395	26,109,333	26,123,382
(f) 分配金	2,639,025	2,445,383	2,378,553	2,357,562	2,278,422	2,281,860
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	27,731,991	25,810,791	24,928,597	24,844,833	23,830,911	23,841,522
(h) 受益権総口数	659,756,286口	611,345,975口	594,638,294口	589,390,582口	569,605,675口	570,465,173口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金	第76期	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期
		40円	40円	40円	40円	40円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド
日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／
米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス

当ファンド（ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ 日本円・コース（毎月分配型）／豪ドル・コース（毎月分配型）／ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）／米ドル・コース（毎月分配型）／通貨セレクト・コース（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド 日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2020年3月9日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（日本円建て）

貸借対照表
2019年2月28日

資産

投資資産の評価額（簿価 ¥54,582,454,614）	¥	55,240,038,646
現金および現金同等物		83,233,183
スワップ契約による評価益		119,878,236
売却済み投資資産の未収益		40,767,822,698
資産合計		96,210,972,763

負債

スワップ契約による評価損		23,579,608
未払：		
購入済みの投資		40,666,907,744
終了済みスワップ契約		291,762,029
償還済み受益証券		100,000,000
専門家報酬		16,333,232
管理会社報酬		6,490,708
運用会社報酬		5,005,769
名義書換代理人報酬		1,733,341
為替投資アドバイザー報酬		99,695
受託会社報酬		95,000
負債合計		41,112,007,126

純資産

	¥	55,098,965,637
豪ドル・クラス	¥	2,134,884,699
ブラジル・レアル・クラス		45,032,183,832
日本円・クラス		531,522,939
通貨セレクト・クラス		271,572,580
米ドル・クラス		7,128,801,587
	¥	55,098,965,637

ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－

発行済み受益証券口数

豪ドル・クラス	26,305,630
ブラジル・リアル・クラス	964,476,450
日本円・クラス	6,610,227
通貨セレクト・クラス	7,222,163
米ドル・クラス	57,886,114

受益証券1口当り純資産額

豪ドル・クラス	¥	81.16
ブラジル・リアル・クラス	¥	46.69
日本円・クラス	¥	80.41
通貨セレクト・クラス	¥	37.60
米ドル・クラス	¥	123.15

損益計算書

2019年2月28日に終了した年度

投資収益

受取利息	¥	3,273,456
投資収益合計		<u>3,273,456</u>

費用

運用会社報酬	76,936,128
管理会社報酬	39,676,773
専門家報酬	10,229,214
名義書換代理人報酬	6,589,830
受託会社報酬	1,843,010
為替投資アドバイザー報酬	388,709
設立費用	24
費用合計	<u>135,663,688</u>

投資純損失

(132,390,232)

実現益 / (損) と評価益 / (損) :

実現益 / (損) の内訳:

証券投資	2,772,617,493
スワップ契約	(9,694,375,590)
外国為替取引および外国為替先渡契約	33,367,309
純実現損失	<u>(6,888,390,788)</u>

評価益 / (損) の純変動の内訳:

証券投資	1,155,580,924
スワップ契約	411,106,995
外国為替換算	(5,145,576)
評価益の純変動	<u>1,561,542,343</u>

純実現損失および評価益の純変動

(5,326,848,445)

運用による純資産の純減

¥ (5,459,238,677)

(日本円建て)

投資明細表
2019年2月28日

ストラクチャード商品

投資資産の明細	受益証券数	純資産に占める割合	評価額
CROCI Buy-Write Index* - トータル・リターン・スワップ	5,811,583	100.26%	¥ 55,240,038,646
ストラクチャード商品計 (簿価 ¥54,582,454,614)			55,240,038,646
投資資産計 (簿価 ¥54,582,454,614)		100.26%	¥ 55,240,038,646

*当ファンドは Deutsche Bank A.G.、ロンドン支店との間で締結したファンドの残高と同金額の元本のパフォーマンス・スワップを通して CROCI Buy-Write Index と同様のエクスポージャーを有しています。

豪ドル・クラス外国為替スワップ契約

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に占める割合
AUD	Deutsche Bank A.G.	26,732,210	2019/3/29	USD	(19,192,925)	¥ (19,739,552)	(0.04)%

ブラジル・リアル・クラス外国為替スワップ契約

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に占める割合
BRL	Deutsche Bank A.G.	1,527,344,147	2019/3/29	USD	(405,719,236)	¥ 119,614,696	0.22%

日本円・クラス外国為替スワップ契約

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に占める割合
JPY	Deutsche Bank A.G.	534,327,682	2019/3/29	USD	(4,836,245)	¥ (3,113,714)	(0.01)%

通貨セレクト・クラス為替スワップ契約

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に占める割合
IDR	Deutsche Bank A.G.	5,200,342,530	2019/3/29	USD	(371,064)	¥ (326,218)	(0.00)%
INR	Deutsche Bank A.G.	28,393,227	2019/3/29	USD	(397,917)	127,093	0.00%
MXN	Deutsche Bank A.G.	7,863,854	2019/3/29	USD	(407,681)	(111,762)	(0.00)%
PHP	Deutsche Bank A.G.	20,714,420	2019/3/29	USD	(397,917)	136,447	0.00%
RUB	Deutsche Bank A.G.	25,172,795	2019/3/29	USD	(380,828)	(23,539)	(0.00)%
TRY	Deutsche Bank A.G.	2,619,401	2019/3/29	USD	(485,800)	(264,823)	(0.00)%
合計						¥ (462,802)	(0.00)%

用語集:

AUD 豪ドル
BRL ブラジル・リアル
IDR インドネシア・ルピア
INR インド・ルピー
JPY 日本円
MXN メキシコ・ペソ
PHP フィリピン・ペソ
RUB ロシア・ルーブル
TRY トルコ・リラ
USD 米ドル

ダイワ・マネー・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2019年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2020年3月9日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2019年9月10日～2020年3月9日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

下記は、2020年3月9日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（65,991,635千口）の内容です。

国内その他有価証券

	2020年3月9日現在	
	評価額	比率
	千円	%
国内短期社債等	999,996	<1.5>

（注1）< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第15期 (決算日 2019年12月9日)

(作成対象期間 2018年12月11日～2019年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

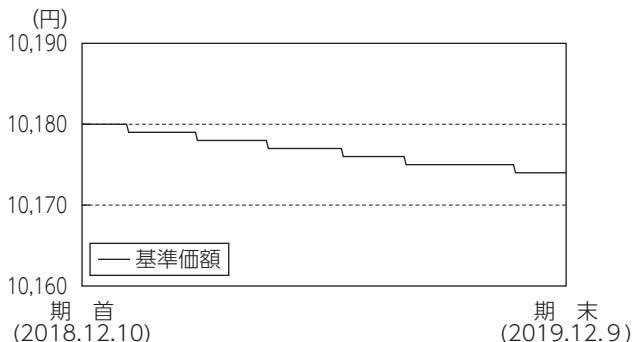
運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2018年12月10日	円	%	%
12月末	10,180	0.0	-
2019年1月1月末	10,179	△0.0	-
2月末	10,179	△0.0	-
3月末	10,178	△0.0	-
4月末	10,178	△0.0	-
5月末	10,177	△0.0	-
6月末	10,176	△0.0	-
7月末	10,176	△0.0	-
8月末	10,175	△0.0	-
9月末	10,175	△0.0	-
10月末	10,175	△0.0	-
11月末	10,174	△0.1	-
(期末)2019年12月9日	10,174	△0.1	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,180円 期末：10,174円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
 (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	350,004	(350,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

(2) その他有価証券

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国内短期社債等	238,999,542	(238,999,547)

(注1) 金額は受渡し代金。
 (注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

当 期		期 末	
買 付	売 付	買 付	売 付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
801 国庫短期証券 2019/3/18	350,004		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
国内その他有価証券

	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
国内短期社債等	999,997	<1.2>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	83,690,918	100.0
投資信託財産総額	83,690,918	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	83,690,918,350円
コール・ローン等	82,690,920,679
現先取引(その他有価証券)	999,997,671
(B) 負債	51,646
その他未払費用	51,646
(C) 純資産総額(A-B)	83,690,866,704
元本	82,259,129,638
次期繰越損益金	1,431,737,066
(D) 受益権総口数	82,259,129,638口
1万口当り基準価額(C/D)	10,174円

* 期首における元本額は78,610,288,449円、当作成期間中における追加設定元本額は112,484,550,034円、同解約元本額は108,835,708,845円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ日経225-シフト11- 2019-03 (適格機関投資家専用) 1,850,319,411円、ダイワ・グローバルIOT関連株ファンド -A I新時代- (為替ヘッジあり) 977,694円、ダイワ・グローバルIOT関連株ファンド -A I新時代- (為替ヘッジなし) 977,694円、ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジあり) 9,608円、ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジなし) 9,608円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり) 49,107円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし) 49,107円、ダイワ/RICI® コモディティ・ファンド5,024,392円、US債券NB戦略ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,676円、US債券NB戦略ファンド (為替ヘッジなし/年1回決算型) 1,330円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>

米ドルコース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型) 180,729円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型) 737,649円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型) 95,276円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型) 337,885円、世界セレクトティブ株式オープン983円、DCダイワ・マネー・ポートフォリオ4,249,607,706円、ダイワファンドラップ コモディティセレクト317,107,941円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- ミドル・コース (毎月分配型) 12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株式ファンド-パラダイムシフト-9,853,995円、低リスク型アロケーションファンドII (適格機関投資家専用) 4,212,646,194円、ブルベア・マネー・ポートフォリオV 32,678,414,397円、ブル3倍日本株ポートフォリオV 31,868,647,270円、ベア2倍日本株ポートフォリオV 6,946,381,074円、ダイワFEGグローバル・バリュー株ファンド (ダイワSMA専用) 3,666円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 155,317円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 38,024円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ミドル・コース (毎月分配型) 4,380円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型) 22,592円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド 164,735円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ 109,485,524円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース) 33,689円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース) 96,254円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド-インフラ革命- (為替ヘッジあり) 5,385円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジなし) 11,530円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) ミドルコース9,817円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 日本円コース6,964円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 通貨αコース9,479円、ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型) 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ980,367円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型) 1,097円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型) 2,690円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,350円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース982,029円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ-通貨セレクト・コース (毎月分配型) 98,174円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,174円です。

■損益の状況

当期 自2018年12月11日 至2019年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 42,819,286円
受取利息	111,756
支払利息	△ 42,931,042
(B) その他費用	△ 2,381,736
(C) 当期損益金(A+B)	△ 45,201,022
(D) 前期繰越損益金	1,418,229,476
(E) 解約差損益金	△ 1,927,237,136
(F) 追加信託差損益金	1,985,945,748
(G) 合計(C+D+E+F)	1,431,737,066
次期繰越損益金(G)	1,431,737,066

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。